

# 赤十字概論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」関係 「3」探求 実務経験がある  
教員：○

○角田敦彦

## ■ 授業の目的

日本赤十字看護大学の建学精神である赤十字の理念、諸原則の学びを通して、人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養うことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について説明できる。
- ②赤十字と国際人道法の基本原則、赤十字標章の正しい使い方、有事の行動規範等について理解する。
- ③人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化の担い手としての自覚を養う。
- ④学習した内容をもとに他者に赤十字の概要を説明できる。

## ■ 学習の進め方

- ・ Glexa を使用し、オンデマンドの PPT スライド教材を使用した授業を進めます。オンデマンドではありますが、授業計画の日に受講を終えることを基本とします。
- ・ (一部を除き)講義ごとに小テストを掲載していますので、講義スライドで学修したあと振り返りを行ってください。
- ・ 質問やコメントがある場合は、Glexa のフォーラム機能を活用して書き込みをしてください。【各講義後 1 週間以内】
- ・ 全体で共有した方がよいコメントや質問があった場合は、必要に応じて教員からのコメントを掲載します。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>自宅学習課題</b> 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
2	<b>自宅学習課題</b> 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
3	<b>自宅学習課題</b> 事前学修：赤十字の歴史や活動に関してインターネットで公開されている(Youtube などの)動画を閲覧し、興味を持った内容について A4 用紙 1 枚程度でまとめる。まとめた課題は、Glexa 上の「事前学習課題提出」ディレクトリ提出する。	自宅学習	角田
4	<b>国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン、国際赤十字のしくみと活動</b> 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
5	<b>日本赤十字社のしくみと活動、赤十字運動の基本原則</b> 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
6	<b>戦争の歴史と国際人道法、現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法</b> 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
7	<b>赤十字標章の意味と適正な使用</b> 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田
8	<b>国際社会における赤十字の役割</b> 事前学修：[30 分] Glexa 上のスライドで学修 事後学修：[30 分] クイズで学修効果を確認し、講義内容に関するコメント質問を書き込む	オンデマンド	角田

## ■ 教科書

講義資料は Glexa に掲載する。ダウンロードしたり、各自が必要に応じてプリントアウトするなどして授業に取り組む。

## ■ 参考書、参考資料等

「戦争と国際人道法」(井上忠男、東信堂、2015)「解説赤十字基本原則」(ピクテ、東信堂、2013)、「ソルフェリーノの思い出」(日本赤

字社刊)、「赤十字のしくみと活動」(日本赤十字社刊)、その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

### ■ フィードバックの仕方

試験実施後、Glexa 上に正答を公開する。

### ■ 他の授業科目との関連

赤十字国際活動論、赤十字国際活動論演習は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20 %      2. 試験または課題レポートの提出 80 %

### ■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①月曜日    ② 12:30～13:00    ③ 410 研究室

### ■ 受講上の注意事項

・ 講義資料は、著作物です。講義を受講する学生以外に複製などして配布することは禁止する。

### ■ その他

HBRC100

# 心理学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：-

○遠藤公久

## ■ 授業の目的

人間の“こころ”について、心理学ではこれまで科学的手法を用いてさまざまな側面を解明してきた。本講義では、心理学における基本的で重要な理論や研究例を紹介しつつ、日常生活における人間行動について、さらに興味を高め、その理解を深めることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①心を科学するとはどういうことかについて知る。
- ②日常生活の人間行動について、そのメカニズムを説明できる。
- ③心の発達とはどのように変化していくのか説明できる。

## ■ 学習の進め方

1. 授業の展開
  - 1)事前に配布された授業案に目を通しておく。
  - 2)ビデオを視聴する。
  - 3)視聴後、コメントならびに質問等を記入する。
  - 4)理解度チェッククイズに回答する。
  - 5)後日教員から配布される質問への回答を確認する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	在宅学習課題1「日常生活の人間の不思議な心理・行動」についてレポート(A 4版1枚)にまとめる。	自宅学習	遠藤
2	在宅学習課題2「入学前の自己の心理状態について分析しなさい」について、レポート1枚程度(A 4版1枚)にまとめる。	自宅学習	遠藤
3	オリエンテーション：心を科学するとは 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
4	心のしくみ1：感覚と知覚(錯覚はなぜ起こるのか) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
5	心のしくみ2：記憶と忘却(どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
6	心のしくみ3：学習1(人が縁起をかつぐのはなぜか) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
7	心のしくみ4：学習2(人はなぜ攻撃するのか) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
8	心のしくみ5：感情と動機(感情はなぜ生れるか？ 意欲を高めるにはどうすればよいか) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
9	心の発達1と2：発達とは、そして乳児期(赤ちゃんの能力はすごい！) 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤

No	内容	形式	教員
10	<b>心の発達3：幼児・児童期(子どもの世界観ってどうなっているの?)</b> 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	オンディマンド型	遠藤
11	<b>心の発達4：青年期(アイデンティティに悩む若者、悩まない若者)</b> 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
12	<b>心の発達5：中年期・老年期(中年期の危機って？ 老いても発達するとは?)</b> 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
13	<b>心と社会1：対人関係の心理(発展、維持、深まり)</b> 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
14	<b>心と社会2：集団心理(個人と集団の相互作用プロセス)</b> 事前学修：[10分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[10分] ビデオを視聴後、配布資料を参照しながら、リフレクションペーパーに記入し、さらに理解度確認クイズに回答する。	オンディマンド型	遠藤
15	<b>まとめ</b> 事前学修：これまでの授業を振り返る	自宅学習	遠藤

## ■教科書

『看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する』(弘文堂)(遠藤公久編著) 2019年

## ■参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

## ■フィードバックの仕方

授業中に抱いた質問を広尾キャンパス、大宮キャンパス合同にして、教員から回答をまとめて、Glexa にアップする。

## ■他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

## ■成績評価の仕方

1. 課題(30%)、2. 理解度確認クイズへの取り組み(20%)、3. レポート(50%)で総合的に判断する

## ■オフィスアワー・研究室等

随時 Glexa への質問へ対応する。

## ■その他

SBHU100

# 身体運動理論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある  
教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・向上させていくことは、社会で活躍するためにも、自身が人生を豊かに過ごすためにも必要なことである。また、医療職者は高齢化が進む日本において人々が健康長寿に向かうよう、医療・福祉、地域、教育の現場で各年齢に適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っている。本講義では、身体運動やスポーツを、安全に、効果的に、楽しく実施するために必要な基本的知識を学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・身体運動やスポーツを習慣化し、健康維持・向上していくための具体的な手段と方法を習得する。
- ・医療従事者として健康と運動について自らの考えを述べられる。
- ・医療・福祉・地域・教育の場で各年齢、環境に適した健康管理法を提案できる知識と技術を習得する。

## ■ 学習の進め方

基本的に講義形式で行うが、演習も含まれる。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[20分] 健康と運動についての自身のイメージをノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業を受けて事前学習で行ったイメージについて振り返り、感想をノートに記入する。	講義	白井
2	<b>オリンピックについて</b> 事前学修：[30分] オリンピックについて印象に残っている場面をノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業で皆の意見を聞いて感想を記入する。	講義・演習	白井
3	<b>健康と運動①自分に必要な活動量</b> 事前学修：[20分] 健康と運動について自分自身で普段から気を付けていること、または実践していることをノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業を受けて自ら実践したい、気を付けていきたいと思った点を健康と運動をテーマに記入する。	講義	白井
4	<b>健康と運動②運動処方作成</b> 事前学修：[20分] 自分自身の健康について考え、または家族、身近な人の健康についてノートに記入する。 事後学修：[20分] 運動処方を作成する。	講義・演習	白井
5	<b>健康と栄養①自分に必要な栄養素</b> 事前学修：[20分] 自分が普段どのような食事をしているか振り返り、ノートに記入する。 事後学修：[20分] 授業を受けて、実践してみたい食事法を実践し、感想をノートに記入する。	講義	白井
6	<b>健康と栄養②栄養バランスの取れた食事</b> 事前学修：[20分] 一汁三菜のメニューをノートに図も含め記入してくる。 事後学修：[20分] 自分自身の健康や家族や周囲の人の健康と栄養について考察し、ノートに記入する。	講義・演習	白井
7	<b>障害のある人と運動</b> 事前学修：[20分] 障害をもつひとの運動と健康について調べ、ノートに記入する。 事後学修：[20分] 医療従事者として障害のある人と運動について自らの考えをノートに記入する。	講義	白井
8	<b>まとめ</b> 事前学修：[20分] これまでの講義を振り返り、興味があったこと、深めたいことをノートに記入する。 事後学修：[20分] 講義を受けて、今後自分自身で実践していきたい事をノートに記入する。	講義・演習	白井

## ■ 教科書

なし

**■ 参考書、参考資料等**

適宜プリントを配布する。

**■ フィードバックの仕方**

授業用ノートおよびレポートにてフィードバックのコメントを行う。

**■ 他の授業科目との関連**

身体運動実技の内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

**■ 成績評価の仕方**

授業への取り組み 50 %、レポート 50 %

**■ オフィスアワー・研究室等**

随時、電子メールで質問を受け付ける。

**■ その他**

SBHU150

# 身体運動実技

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある  
教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高め、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれらの享受能力に気づきを与えることができるプログラムを提供できる能力を身につけることができることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ①健康なこころとからだを維持、増進、管理できる能力を身につける。
- ②身体運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる能力を身につける。

## ■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 身体運動論実技に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 提示された課題(授業感想の提出)に取り組みます。
5. 感想や課題の提出は授業日から提出期限内に行ってください。提出期限を過ぎた場合、課題を提出しても出席扱いにならないことがありますので、注意してください。
6. 教員は、課題提出を確認し、Glexa 上でコメントを返したり、解答解説などのフィードバックを行います。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
4	ヨガ①肩こり、リラックスヨガ 事後学修：[30分] ヨガの歴史について調べる。また、ヨガを行った感想を Glexa 内にレポートで提出する。	オンデマンド型	白井
5	ヨガ②朝ヨガ、寝る前のヨガ 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながらヨガを行う 事後学修：[30分] ヨガを継続して行ってみての感想を Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
6	ヨガ③代謝アップヨガ 事前学修：[30分] 週3回以上、動画を見ながらヨガを行う。 事後学修：[30分] 将来、医療従事者として働く際にヨガがどのような場面で行かされるのか調べて Glexa 上に提出する。	オンデマンド型	白井
7	ピラティス①体幹を鍛える 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながらヨガを行う。 事後学修：[30分] ピラティスの歴史について調べて Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
8	ピラティス②お腹を鍛える 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながらピラティスを行う。 事後学修：[30分] ピラティスを行ってみての感想を Glexa 上に提出する。	オンデマンド型	白井
9	ヨガ 実践 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30分] リアルタイムでヨガを行ってみての感想を Glexa 内に提出する。	同時双方向型	白井
10	ヨガ 実践 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながら運動を行う。 事後学修：[30分] リアルタイムでヨガを行ってみての感想を Glexa 内に提出する。	同時双方向型	白井
11	ダンベル体操 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながらピラティスを行う。 事後学修：[30分] ダンベル体操を行ってみての感想を Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井

No	内容	形式	教員
12	正しいウォーキング、スロージョギング 事前学修：[30分] 週3回以上動画を見ながら運動する 事後学修：[30分] ウォーキング、スロージョギングなどの有酸素運動を行った感想を Glexa 内に提出する。	オンデマンド型	白井
13	自宅学習課題	自宅学習	白井
14	自宅学習課題	自宅学習	白井
15	自宅学習課題	自宅学習	白井

#### ■ 教科書

なし

#### ■ 参考書、参考資料等

なし

#### ■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

#### ■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論) と合わせて理解を深めます。

#### ■ 成績評価の仕方

授業の課題 70% 事前課題 15% 事後課題 15%

#### ■ オフィスアワー・研究室等

休日を除く平日 17時まで Glexa メールで対応します。

#### ■ 受講上の注意事項

無理のない範囲で授業に取り組んでください。



# 社会学概論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」変化 実務経験がある  
教員：－

○鷹田佳典

## ■ 授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

## ■ 到達目標

1. 社会学の基礎と思考方法を習得する。
2. 社会学の概念の意味を理解する。
3. 社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

## ■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業の終わりにリアクションペーパーを配布し、コメントや質問を書いてもらう時間を設けます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>イントロダクション：社会学への招待</b> 事前学修：[30分] 社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	<b>禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？</b> 事前学修：[30分] 宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	<b>アノミー：なぜ人は自殺するのか？</b> 事前学修：[30分] ここ 20 年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことごとをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	<b>印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？</b> 事前学修：[30分] 人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	<b>感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？</b> 事前学修：[30分] バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	<b>予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？</b> 事前学修：[30分] プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	<b>ラベリング：なぜ再犯が多いのか？</b> 事前学修：[30分] 犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	<b>相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？</b> 事前学修：[30分] 公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	<b>社会的性格：なぜ人は自由から逃れようとするのか？</b> 事前学修：[30分] 日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
10	<b>モラトリアム：人はいつオトナになるのか？</b> 事前学修：[30分] アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
11	<b>誇示的消費：なぜ「映え」が重要なのか？</b> 事前学修：[30分] 普段の消費を振り返り、その特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	<b>準抛集団：なぜお給料が上がったのに不満なのか？</b> 事前学修：[30分] 自分が所属したいと思う集団の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	<b>マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？</b> 事前学修：[30分] ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	<b>リスク：なぜ精密検査を受けないのか？</b> 事前学修：[30分] 身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	<b>リキッドモダン：なぜこれほど自己責任が叫ばれるのか？</b> 事前学修：[30分] 断捨離ブームについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

### ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

### ■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

### ■ 他の授業科目との関連

臨床社会学と関連します。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(30%)、定期試験(70%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

①月曜日、②12:10~13:00、③427 研究室

### ■ その他

SBSS150

# 日本国憲法

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」擁護 「3」探求 実務経験がある  
教員：－

○志田陽子

## ■ 授業の目的

さまざまな社会問題から《憲法の基本のルール》を学ぶ。

憲法上保障されている「人権」と「統治(国の仕組み)」について総合的に学びます。社会の中で発生する憲法問題をできるだけ具体的に  
取り上げながら、常に「見失ってはならない基本」に立ち返り、将来社会の場に立った時に振り返るべき基本のルール感覚や人権感覚を  
身につけてもらいます。

## ■ 到達目標

①社会問題・人権問題への気づきを促す。これから社会人となる学生に考えてほしい憲法テーマについて、まず問題への気づきを目標  
として、講義や映画・文献の紹介をします。

②問題を「法的に」考える力を養う。各自が関心を持った問題についてエッセイを作成します。(中間レポート課題)

③解決のための《論》を組む力を養う。各人が問題解決思考をもって課題に接し、論説のルールを実践して、自分の論説を組むことを目  
指します。

## ■ 学習の進め方

講義形式の授業です。

中間レポートや期末レポートなどの課題取り組みを通じて、各自が自分で考え、自分なりの論説を作る努力をしてもらいますので、主体  
的な気持ちで参加してください。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> <b>日本国憲法の成立と国民主権</b> 事前学修：[30分] 教科書のうち第1章(とくに p14 のコラム)を読み、日本国憲法制定以前と以後では何が決定的に変わったのかを把握しておく。 事後学修：[20分] 授業での解説や参考 DVD、教科書の該当箇所を復習し、事前学習で考えたことと合わせて、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	オリエンテーションと講義 (前半で、本講義の進め方について簡単な説明を行なったあと、人権論の前提となる基礎的な知識について講義。)	志田陽子
2	<b>日本国憲法の成立と「平和のうちに生存する権利」・「戦争放棄」</b> 事前学修：[30分] 教科書のうち第15章を読み、「平和のうちに生存する権利」が「人権」として確認・保障されたことの意味を確認しておく。 事後学修：[20分] 授業での解説や参考 DVD、教科書の該当箇所を復習し、事前学習で考えたことと合わせて、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	講義 (前半で基礎事項の解説。後半で映像資料を見ながら考える)。	志田陽子
3	<b>国民主権、民主主義、立憲主義――人権と統治の両方に通底する憲法の基本原理について。</b> 事前学修：[30分] 教科書の第1章と第13章を読み、「国民主権」「民主主義」「立憲主義」の考え方を把握しておく。 事後学修：[20分] 授業での解説や参考 DVD、教科書の該当箇所を復習し、事前学習で考えたことと合わせて、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	講義 導入としてイギリスの映画「クロムウェル」を30分上映し、残り60分で憲法の基本原理を解説。	志田陽子
4	<b>参政権――選挙権、最高裁判所裁判官国民審査、裁判員制度、憲法改正時の国民投票について学ぶ。</b> 事前学修：[30分] 教科書の第2章と第13章を読み、「選挙権」、「最高裁判所裁判官国民審査」、「憲法改正時の国民投票」とは何か、把握しておく。 事後学修：[20分] 授業での解説をもとに、事前学習で確認した複数の権利がどのような関連性を持っているか、「民主主義」「立憲主義」を軸にして考え、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	講義	志田陽子

No	内容	形式	教員
5	<b>精神的自由(1)表現の自由</b> <b>(表現の自由と民主主義との関係、知る権利など)</b> 事前学修：[30分]教科書の第3章を読み、表現の自由と民主主義との関係、知る権利とは何か、について把握しておく。 事後学修：[20分]授業での解説をもとに、事前学習で確認した事柄がどのような循環関連にあるかを考え、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	講義	志田陽子
6	<b>精神的自由(2)思想良心の自由、信教の自由</b> 事前学修：[30分]教科書の第4章を読み、「三菱樹脂事件」「剣道実技拒否事件」などの実例について把握しておく。 事後学修：[20分]授業での解説をもとに、事前学習で確認した事例についてかを考え、リフレクション・ペーパーを作成する。(次回以後の授業で提出)	講義	志田陽子
7	<b>精神的自由(3)学問の自由、芸術の自由、新しい人権(人格権)</b> 事前学修：[30分]これまで学んできた「精神的自由」の考え方をもとに、第2019年8月に起きた「あいちトリエンナーレ2019」展示中止事件など、新しく起きてきた「芸術の自由」をどう考えるか、各自で過去の新聞記事などを参考にして考えてきてください。 事後学修：[20分]授業での解説やDVDをもとに、「学問の自由」や「芸術の自由」がなぜ世界中で重要なテーマになっているのか、各自の考えをリフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)	講義(60分)とDVD鑑賞(30分)	志田陽子
8	<b>人身の自由と法の適正手続</b> <b>(人は不当な身柄拘束を受けない。その例外としての刑事手続きについて学ぶ。)</b> 事前学修：[30分]教科書の第5章を読み、「奴隷的拘束の禁止」「意に反する苦役の禁止」「公正な告知」「公正な裁判」について把握しておく。 事後学修：[20分]授業の解説やDVDの内容をもとに、なぜ犯罪を裁くことについて厳格なルールがあるのか、事前学習で把握したそれぞれのキーワードがなぜ重要な意味を持つのかについて、リフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)	講義(60分)と裁判員制度に関するDVD鑑賞(30分)	志田陽子
9	<b>経済的自由と福祉政策の必要性</b> <b>(「国家の仕事」(統治)とは何か？(医療関係者にとっては必須の人権項目。))</b> 事前学修：[30分]教科書第6章を読み、「財産権」「居住移転の自由」「公共の福祉」について、把握しておく。 事後学修：[20分]授業の内容をもとに、「国の仕事」に関する考え方がこの100年で大きく変わってきたことについて考え、リフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)	講義(60分)とDVD鑑賞(30分)	志田陽子
10	<b>社会権(1)生存権</b> <b>(医療関係者にとっては必須の人権項目。)</b> 事前学修：[30分]教科書第8章を読み、「健康で文化的な最低限度の生活」が「権利として保障される」とはどういうことか、また25条第2項では国が国民の医療について制度を整備する責任を負っていることを把握しておく。 事後学修：[20分]授業での解説をもとにして、事前学習で考えたことを具体的な裁判事例と照らし合わせて考え、この権利の保障を確実にするためには何が必要か、各自でリフレクション・ペーパーにまとめる。	講義	志田陽子
11	<b>社会権(2)環境権</b> <b>(条文にはない新しい権利。その切実性は増大している。)</b> 事前学修：[30分]教科書の第10章を読んで「環境問題」「環境権」とは何か、また近年の新聞記事を手掛かりに「気候変動問題」とは何か、把握しておく。 事後学修：[20分]授業の解説をもとに、法(裁判)で救済できる事柄と、国際的な協力が必要な事柄の違いを意識した上で、これからの「環境権」について各自の考えをリフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)	講義(45分)とDVD(45分)	志田陽子
12	<b>社会権(3)教育を受ける権利と児童の権利</b> <b>(児童福祉にかかわろうとする人にとって必須の項目。)</b> 事前学修：[30分]教科書の9章を読んで、「学習権」「教育の機会均等」「教科書検定」などのキーワードについて把握しておく。 事後学修：[20分]授業の解説と事前学習で考えたことをふまえて、関心をもった裁判例を一つ選んで、各自の考えをリフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)	講義	志田陽子

No	内容	形式	教員
13	<p><b>法の下での平等(1)日本国憲法 14 条と世界の歩み。</b>  <b>(人種差別克服の歩み、性別差別、性的指向による差別克服の歩みなど)。</b></p> <p>事前学修：[30 分] 教科書第 12 章を読んで、日本国憲法 14 条の条文の意味と、差別克服の課題を把握しておく。</p> <p>事後学修：[20 分] 授業の解説と事前学習で考えたことをふまえ、関心をもった社会問題を一つ選んで、各自の考えをリフレクション・ペーパーにまとめる。(次回以後の授業で提出)</p>	講義	志田陽子
14	<p><b>法の下での平等(2)日本社会におけるさまざまな社会問題を考える。</b></p> <p>事前学修：[30 分] 教科書第 12 章を再び読んで、日本社会の中でまだ克服しきれていない「平等」達成のための課題がたくさんあることを、把握しておく。</p> <p>事後学修：[40 分] 授業の解説と事前学習で考えたことをふまえ、関心をもった社会問題とそれに対応する裁判例を一つ選んで、各自の考えをリフレクション・ペーパーにまとめる。この回では、レポート作成の準備として「引用」のルールを実践する(次回の授業で提出)</p>	講義	志田陽子
15	<p><b>レポート作成時のコンプライアンス解説と、教場レポート実践。</b></p> <p>事前学修：[60 分] 事前に必要事項を授業内で告知する。各自、自分のレポート作成に必要な参考資料を自分で揃え、持参する。</p> <p>事後学修：[30 分] 課題回答に必要な論点やキーワードの解説、レポート作成時に陥りやすいコンプライアンス違反(著作権侵害など)に関する解説ペーパーを配布。答案提出後、各自で検討・反省する。</p>	教場レポート	志田陽子

## ■ 教科書

志田陽子編著『合格水準 教職のための憲法』(法律文化社、2017 年)

## ■ 参考書、参考資料等

志田陽子編著 『あたらしい表現活動と法』(武蔵野美術大学出版局、2018 年)

志田陽子著 『「表現の自由」の明日へ』(大月書店、2018 年)

志田陽子編著 『映画で学ぶ憲法 2』(法律文化社、2020 年度中に刊行予定)(刊行されたら授業内でお知らせします)

学期末のレポート作成時には、上記の教科書に加えて、各自でテーマにふさわしい参考文献を自主的に探して参照してください。

## ■ フィードバックの仕方

試験(教場レポート課題)のフィードバックは、試験終了直後に、解説資料の配布を通じて行う。解説資料には、当該テーマにおいて必要だった論点やキーワードなどの要点解説と、レポート評価においてポイントとなる「引用のルール」「参考文献の明示」などのルール事項解説(復習)を記す。

## ■ 他の授業科目との関連

特になし

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(リフレクション・ペーパーを通じて取り組み評価を行う) 40 %、期末試験(教場レポート) 60 %。

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■ その他

SBSS151

# 数学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある  
教員：－

○川崎 洋平

## ■ 授業の目的

データを分析するための基礎力となる数学及び統計学の基本を習得する。

## ■ 到達目標

1. 高校数学の基本的知識、基本解法を習得する(「データの分析」「場合の数・確率」「確率分布と統計的な推測」)。
2. 簡単な統計用語の意味を理解し、基本的な計算ができる。
3. 論理的、合理的、数理的思考ができる。
4. 身近な事象や統計について問題意識をもつ。
5. 必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。

## ■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を随時行って、理解を着実にする。

※ 演習時には電卓を使用する事もある。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	<b>データを整理するための基礎(1)：平均値とグラフ</b> 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	<b>データを整理するための基礎(2)：データと変量、箱ひげ図</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	<b>データを分析するための基礎(1)：平方根の計算、多項式の展開</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	<b>データを分析するための基礎(2)：分散、標準偏差、偏差値</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	<b>相関関係を調べるための数学(1)：関数、1次関数と2次関数</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	<b>相関関係を調べるための数学(2)：2次関数と2次方程式</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	<b>相関関係を調べるための数学(3)：散布図と相関係数</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	<b>相関関係を調べるための数学(4)：相関を調べるための数学のまとめ</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	<b>ばらばらのデータを分析するための数学(1)：階乗と順列、集合と確率</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	<b>ばらばらのデータを分析するための数学(2)：事象と試行、数列</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	<b>ばらばらのデータを分析するための数学(3)：確率変数と確率分布、期待値と分散</b> 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	ばらばらのデータを分析するための数学(4): ばらばらのデータを分析するための数学のまとめ 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	連続するデータを分析するための数学(1): 極限、積分の基礎 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	連続するデータを分析するための数学(2): 連続型確率変数と確率密度関数 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	連続するデータを分析するための数学(3): 連続するデータを分析するための数学のまとめ 事前学修: [30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修: [30分] 授業の復習(用語の確認、問題の解き直し)	講義・演習	川崎 洋平

## ■ 教科書

授業中に配布する資料

## ■ 参考書、参考資料等

永田 靖(2005年). 統計学のための数学入門30講(科学のことばとしての数学). 朝倉書店.

永野 裕之, 岡田 健介(2018年). 統計学のための数学教室. 第4版. ダイヤモンド社.

山田 浩, 大野 ゆう子(2018年). 薬学・看護学・保健学に役立つ生物統計・疫学・臨床研究デザインテキストブック. メディカルパブリケーションズ.

## ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に〇〇〇研究室にて、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

2年次の科目「保健統計学」の導入知識を学ぶ。「保健統計学」に不安を抱く全ての学生に対して積極的に受講を勧める。

## ■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

## ■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、講義前後の時間、以下のオフィスアワーで受け付ける。

オフィスアワー: 〇〇曜日〇〇時~〇〇時、〇〇〇研究室

## ■ 受講上の注意事項

高校数学に苦手意識を持つ学生も歓迎する。

## ■ その他

SBNS150

# 生物学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：-

○宮崎正峰

## ■ 授業の目的

生物がどのように誕生し生命の連続性を保ち、そしてヒトをはじめとする生物へと進化していったのかを学び、生命について考える機会を持つことを目的とします。DNA の構造、同化や異化などの生命の維持機能、遺伝の法則等の微視的な分野から動物の行動、コミュニケーション等の巨視的な分野まで広く生物学の基礎を学んでいきます。

## ■ 到達目標

1. 生物の進化を理解する
2. 遺伝の法則などの基本事項を理解する
3. 動物の行動を学びヒトの行動との違いを考える
4. 生物間の相互作用、生態系について考える
5. DNA の構造、分子生物学的な視点から生物を見る

## ■ 学習の進め方

1. 授業は講義形式で行いますが、問題や質問を投げかける対話の時間も取り入れて進めます。
2. 毎回、授業時間の前半は板書や配布資料などを用いての授業、後半は該当分野の画像、映像を用いて視覚的にも理解しやすい内容で行います。
3. 授業の中で行われる小課題はその日に学習した事項の演習です。また、その用紙に質問などを記入してもらい、次週に紹介、回答していくことで、復習としての機能、および他の受講者がどのようなことに疑問を感じているかを知り、広く理解を深めることとなります。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>生命の共通点である DNA の構造について</b> 事前学修：[30 分] これまでの自らの生物の学習との相違点などを理解してくること 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	自宅学習	宮崎
2	<b>生命の共通点であるセントラルドグマについて</b> 事前学修：[30 分] 該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	自宅学習	宮崎
3	<b>生命の共通点である DNA の自己複製について</b> 事前学修：[30 分] 該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	自宅学習	宮崎
4	<b>生命の定義(何をもって生命とするか)</b> 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方向型)	宮崎
5	<b>体細胞分裂と減数分裂</b> ～細胞は分裂して増えていく～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方向型)	宮崎
6	<b>遺伝の法則—親から子へ受け継がれる形質</b> ～自分は母親似? 父親似? ~ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方向型)	宮崎
7	<b>動物の行動</b> ～動物はその場の状況で行動を変える～ 事前学修：[30 分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30 分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方向型)	宮崎



No	内容	形式	教員
8	<b>群れの利益と不利益</b> ～群れていることにはどのような利益があるのか～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
9	<b>動物の配偶者選択</b> 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
10	<b>生命の誕生</b> ～40億年前に生命は地球上に誕生した～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
11	<b>生物の進化</b> ～進化は目に見えないスピードで起こっている～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
12	<b>DNAの構造、複製、タンパク質合成の過程</b> ～地球上の生命共通のしくみ～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
13	<b>植物はどのように季節を感じるかー光周期</b> ～春に咲く花、秋に咲く花～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
14	<b>ヒトのからだ(心臓、血管系)</b> ～循環器系のはたらき～ 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] 授業の開始前に該当する分野の概要を調べてくること。疑問点などを前もって明らかにするとよい。 事後学修：[30分] ノート、配布物などを読み返し、さらに疑問点をノートにまとめる	講義(同時双方 向型)	宮崎

## ■教科書

教科書は使用しません。

## ■参考書、参考資料等

宮崎正峰(2014年)「ペンギンの不思議」誠文堂新光社

## ■フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、ポータルにて解説資料を配布し、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に答案用紙の返却を通じて行う

## ■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能」や「疾病の成り立ちと回復の促進」などの医学系科目を学ぶための基礎的な知識となる。

## ■成績評価の仕方

1. レポート課題 60% 2. 授業内容に関する課題 20% 3. 授業への取り組み 20%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後あるいはメールで質問を受け付けます。

## ■ 受講上の注意事項

これまで生物を履修していない人でも理解できるよう基礎から解説していきます。教養としての生物学の基礎全般を学習することができます。DNA などの生物をミクロから見た分野だけでなく、植物、動物に関する事項を中心として学んでいきます。

試験では講義での板書を中心とした出題をしますので、しっかりとノートをとることが重要です。また、授業内容に即した映像なども用意していますので、視覚的に学び、感じるという学習も体験して下さい。動物の行動生態に焦点をあてた専門的な話もしていきますので、ヒトだけではなく動物に興味のある人もぜひ履修して下さい。履修者数にもよりますがキャンパス付近の自然観察などにも出かけて実際に目で見てみるという体験も取り入れていきたいと思えます。

## ■ その他

SBNS100

# 化学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：-

○三好洋

## ■ 授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的な考え方を学び、その考えから生命現象や医療技術に関する生体関連物質の性質を考える。

## ■ 到達目標

1. 医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2. 水および水溶液について、化学的に説明できる。
3. 水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる。
4. 細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
5. 生命現象や医療技術に関連する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

## ■ 学習の進め方

1. Glexa による動画のオンデマンド配信および Zoom によるオンライン授業によって講義を進める。
2. 講義資料の要旨などを講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を講義の最後に小テストを実施して知識の確認を行い、解説は講義後に Glexa によって公開する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5. 講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>講義内容の概要説明-オリエンテーション・化学の必要性-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Glexa による講義動画のオンデマンド配信	三好
2	<b>水-性質・状態・身体と水-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
3	<b>元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素の呼吸-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
4	<b>溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質質量、血糖値、生理食塩水-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
5	<b>溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
6	<b>酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液-</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
7	<b>酸化と還元・化学反応と化学平衡</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
8	<b>透析と浸透圧</b> 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30 分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好

No	内容	形式	教員
9	<b>化学結合-原子軌道と分子の形</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
10	<b>有機化学の世界、有機化合物と性質-アルカン・アルケン・アルキン-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
11	<b>酸素・窒素・ベンゼン環を含む有機化合物</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好
12	<b>生体高分子の化学・バイオテクノロジー・2031年の化学-核酸、タンパク質-</b> 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要に目を通し、理解していない単語・事象を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した講義資料の見直しによる、理解の確認。	Zoom によるオンライン授業	三好

### ■ 教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社

### ■ 参考書、参考資料等

講義に対する資料を配布するが、さらに深く興味がある学生には、参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦(2012)、はじめて学ぶ化学、化学同人

### ■ フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバックは Glexa によって行う。

### ■ 他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、代謝、生化学、生体防御などの科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(科学的)な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

### ■ 成績評価の仕方

講義への取り組み 20%、毎回の確認テスト 80% で評価する。

定期試験は行わない。

### ■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問してください。

Glexa および電子メール(hmryoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせに応じます。

### ■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっており、講義前に Glexa によって公開する資料に目を通しておくことを推奨します。高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療に必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。教科書は平易な生化学・生物系につながる表現が用いられています。講義ではより看護に触れるようにします、これまで化学を学んでも「役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

### ■ その他

SBNS101

# 情報学概論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」連携 実務経験がある  
教員：－

○岡田彩子、吉田 みつ子、逸見 功

## ■ 授業の目的

情報の意味と伝達、医療・患者情報の特性、医療・患者情報に関する倫理と情報セキュリティについて学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 情報とは何かを説明できる。
2. 人間・社会と情報の多様な関わりを説明できる。
3. 医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べるができる。
4. 医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性と医療者の責務について説明できる。

## ■ 学習の進め方

本講義は、第1～4回(担当：逸見)で情報学の基礎について学び、続く第5回～第7回(担当：吉田)で情報学の応用として、医療並びに看護情報について、臨床現場に即した課題を扱いながら、理解を深める。そのうえで、最後の第8回(担当：岡田)で看護学実習のあらゆる場面での看護専門職としての情報管理の重要性と責務について理解を深める。

授業は講義を基本にして、実験やグループディスカッションを取り入れながら進める。

授業終了時にミニツツペーパーに、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>情報とは何か</b> 事前学修：[30分] 情報の定義について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
2	<b>情報の処理</b> 事前学修：[30分] 生命活動における情報処理の意義についての考えをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
3	<b>情報の伝達</b> 事前学修：[30分] 情報伝達とコミュニケーションをどのようにしているかを考え、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
4	<b>意思決定における情報の作用</b> 事前学修：[30分] 具体的な場面をいくつか想起して、どのように意思決定しているかをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	逸見
5	<b>医療・看護情報の特性</b> 事前学修：[30分] 健康に関する情報(テレビ、インターネット、書籍などに掲載されているもの)のうち、関心のある話題について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[60分] 提示した文献を読む。	講義	吉田
6	<b>看護情報とは何か、看護情報に基づく解釈と推論</b> 事前学修：[30分] 他者とのかかわりの場面を想起し、看護で用いられる情報について、看護情報の様々な解釈についてをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。	講義および演習	吉田
7	<b>看護・医療情報と倫理</b> 事前学修：[30分] 看護・医療情報を取り扱う上で大切だと考える事をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。	講義・討議	吉田
8	<b>看護学実習における適切な情報管理とは</b> 事前学修：[30分] 本学の看護学実習における適切な情報管理のガイドラインを精読し、疑問点をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料および看護学実習における適切な情報管理ガイドラインを読み返す。	講義・討議	岡田

## ■教科書

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

## ■参考書、参考資料等

第1～4回

劉継生, 木村富美子(2012). はじめて学ぶ情報社会. 昭和堂.

西垣通(2004). 基礎情報学—生命から社会へ. NTT 出版.

大竹文雄, 平井啓(2018). 医療現場の行動経済学. 東洋経済新報社.

## ■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックはコメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却時期、方法はポータルにて連絡する。

## ■他の授業科目との関連

特になし

## ■成績評価の仕方

レポート 80%、授業への取り組み 20%

## ■オフィスアワー・研究室等

逸見：授業終了後 1 時間程度 418 - 420 (非常勤講師室)

吉田：授業終了後 1 時間程度 418 - 420 (非常勤講師室)

岡田：月曜 12:30 - 13:00 研究室 410

## ■その他

SBIS150

# 日本語の表現

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある  
教員：－

○越後敬子

## ■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

## ■ 学習の進め方

1. 授業の冒頭でテーマに沿ったスピーチを行う(毎回数名ずつ)。
2. 授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
3. 課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「日本語検定」にチャレンジ 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	演習・講義	越後
2	ことばと表現に関する知識①—表記のルール— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	ことばと表現に関する知識②—慣用句・ことわざ・故事成語等— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	文の構造①—主語・述語・修飾語・被修飾語— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	文の構造②—助詞等— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	敬語・敬意表現① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	敬語・敬意表現② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	敬語・敬意表現③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	<b>手紙の書き方①</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	<b>手紙の書き方②</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	<b>手紙の書き方③</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	<b>メールの書き方</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	<b>広告文・案内文の書き方</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
14	<b>日本語弱者について考える①</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
15	<b>日本語弱者について考える②</b> 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

## ■教科書

プリントを配布する。

## ■参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

## ■フィードバックの仕方

提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

## ■他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

## ■成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課程提出60%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

## ■受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。

## ■その他

SBLS150



# 英語RWI

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：-

○川崎修一

## ■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

読んだ英語が書けるようになる。

## ■ 学習の進め方

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。後半は、読んだ英語を書けるように訓練する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
4	Why Swearing Is Good For You? (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
5	Autism and Theory of Mind (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
6	Autism and Theory of Mind (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
7	Language and Woman's Place (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
8	Language and Woman's Place (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
9	Mind and Perception (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
10	Mind and Perception (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
11	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
12	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎

No	内容	形式	教員
13	<b>Placebo/Nocebo Effect (1)</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
14	<b>Placebo/Nocebo Effect (2)</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
15	<b>Review</b> 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	Teams での同 時双方向型	川崎

### ■ 教科書

毎回プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

Glexa の Report に各回の課題の添削をフィードバックする。

### ■ 他の授業科目との関連

なし

### ■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50% + 英作文課題 50%

### ■ オフィスアワー・研究室等

火曜日昼休み(12:10 - 13:00) Teams で受け付ける。

### ■ 受講上の注意事項

\*この授業は、指定されたクラスで履修します。

### ■ その他

SBLS100

# 英語RWI

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」探求 「3」成長 実務経験がある教員：－

○川崎修一

## ■ 授業の目的

リーディングでは種類、長さ、分野の異なるさまざまなタイプの英文を、目的に応じて読むことができる能力を養成する。じっくり読んだり、概略を理解したり、速く読むといった作業を通じて、英文に対する応用力を身につけることを目指す。また、ライティングでは、いろいろな種類の英語を書くことに慣れること、和文英訳をすることなく書けるようになること、更には自分の意見を英語で述べることができるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。  
四台英語が書けるようになる。

## ■ 学習の進め方

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。後半は、四台英語が書けるように訓練する。  
履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。  
履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
2	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
3	自宅学習課題 Glexa に Word 形式で提出	自宅学習	川崎
4	Folk Psychology (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
5	Myth and Meaning (1) 事前学修：[60分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容を理解する 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する	Teams での同 時双方向型	川崎
6	Myth and Meaning (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
7	Children's Cognitive Development (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
8	Children's Cognitive Development (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
9	The Elementary Structures of Kinship (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
10	The Elementary Structures of Kinship (2) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
11	Mental Models (1) 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎

No	内容	形式	教員
12	<b>Mental Models (2)</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
13	<b>On Behaviourism (1)</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
14	<b>On Behaviourism (2)</b> 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	Teams での同 時双方向型	川崎
15	<b>Review</b> 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	Teams での同 時双方向型	川崎

### ■ 教科書

毎回プリントを配布します。

### ■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

### ■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題の添削をフィードバックする。

### ■ 他の授業科目との関連

R1-1 を履修して下さい。

### ■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50 % + 英作文課題 50 %

### ■ オフィスアワー・研究室等

火曜日昼休み(12:10 - 13:00) Teams で受け付ける。

### ■ 受講上の注意事項

\* この授業は、指定されたクラスで履修します。

### ■ その他

SBLS100

# 英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－

○遠藤花子

## ■ 授業の目的

英語RWⅠで学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

## ■ 学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[15分] テキストを眺める 事後学修：[15分] 当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	<b>Chapter 1 Encephalitis Lethargica</b> 事前学修：[60分] Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	<b>Chapter 2 Bronx, New York</b> 事前学修：[60分] Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	<b>Chapter 3 Experimental Drugs</b> 事前学修：[60分] Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	<b>Chapter 4 L-dopa</b> 事前学修：[60分] Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	<b>Chapter 5 Amantadine</b> 事前学修：[60分] Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	<b>Chapter 6 Psychiatric Care Team-members</b> 事前学修：[60分] Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	<b>前半のまとめ(小テストとGW)</b> 事前学修：[60分] 前半の範囲を復習する 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習、GW	遠藤
9	<b>Chapter 7 Absence Epilepsy</b> 事前学修：[60分] Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	<b>Chapter 8 Tic-like Movements</b> 事前学修：[60分] Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
11	<b>Chapter 9 Euthanasia</b> 事前学修：[60分] Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
12	<b>Chapter 10 US Psychiatric Institutions</b> 事前学修：[60分] Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	<b>Chapter 11 Parkinson's Disease</b> 事前学修：[60分] Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	<b>Chapter 12 Clinical Trials</b> 事前学修：[60分] Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	<b>Chapter 13 Neurological Infections</b> 事前学修：[60分] Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

### ■教科書

平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

### ■参考書、参考資料等

授業内でその都度紹介します。

### ■フィードバックの仕方

リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に401 研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

### ■他の授業科目との関連

2年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

### ■成績評価の仕方

授業への取組み 30%

リアクションペーパー 30%

定期試験 40%

### ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける

### ■受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

この授業は指定されたクラスで履修します。

### ■その他

SBLS151

# 英語RWⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－

○遠藤花子

## ■ 授業の目的

英語RWⅠで学んだことを基に、更なるステップ・アップを目的とする。リーディングでは、さまざまな種類の英文を引き続き読むことにより、バランスのとれた読解力の伸長を図る。特に、単語力や読むスピードの向上を目的とする。また、ライティングでは、パラグラフの構成に始まり、時間順に語るパラグラフや理由を説明するパラグラフなど、パラグラフの基本を学ぶと同時に、作文の書き方も学び、自分の考え、説明などをわかりやすく書く能力を習得することを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 英文を正確に読むことができる。
2. 医療英語の用語や表現を身に付けることができる。
3. 自分の考えをまとめることができる。

## ■ 学習の進め方

1. テキストを読み進めながら、英語の訳読をする。
2. ビデオを鑑賞し、理解を深める。
3. 各チャプターごとの要点をまとめる。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[15分] テキストを眺める 事後学修：[15分] 当該範囲を復習する	講義	遠藤
2	<b>Chapter 1 Encephalitis Lethargica</b> 事前学修：[60分] Chapter 1 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
3	<b>Chapter 2 Bronx, New York</b> 事前学修：[60分] Chapter 2 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
4	<b>Chapter 3 Experimental Drugs</b> 事前学修：[60分] Chapter 3 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
5	<b>Chapter 4 L-dopa</b> 事前学修：[60分] Chapter 4 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
6	<b>Chapter 5 Amantadine</b> 事前学修：[60分] Chapter 5 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
7	<b>Chapter 6 Psychiatric Care Team-members</b> 事前学修：[60分] Chapter 6 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
8	<b>前半のまとめ(小テストとGW)</b> 事前学修：[60分] 前半の範囲を復習する 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習、GW	遠藤
9	<b>Chapter 7 Absence Epilepsy</b> 事前学修：[60分] Chapter 7 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
10	<b>Chapter 8 Tic-like Movements</b> 事前学修：[60分] Chapter 8 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

No	内容	形式	教員
11	<b>Chapter 9 Euthanasia</b> 事前学修：[60分] Chapter 9 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
12	<b>Chapter 10 US Psychiatric Institutions</b> 事前学修：[60分] Chapter 10 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
13	<b>Chapter 11 Parkinson's Disease</b> 事前学修：[60分] Chapter 11 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
14	<b>Chapter 12 Clinical Trials</b> 事前学修：[60分] Chapter 12 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤
15	<b>Chapter 13 Neurological Infections</b> 事前学修：[60分] Chapter 13 の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる。 事後学修：[15分] テキストを読み返し、分からないところをチェックする	演習	遠藤

### ■ 教科書

平井清子編 (2016). Oliver Sack's Awakenings. 南雲堂.

### ■ 参考書、参考資料等

授業内でその都度紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

リフレクション・ペーパーのフィードバックは、最終授業にて、コメントを付して返却をします。試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に401研究室にて、試験問題と採点基準の解説を行います。

### ■ 他の授業科目との関連

2年次に開講される「英 R2-1」「英 R2-2」の基礎的な学習になります。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取組み 30%

リアクションペーパー 30%

定期試験 40%

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける

### ■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参すること。

この授業は指定されたクラスで履修します。

### ■ その他

SBLS151



# 英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」成長 「3」探求 実務経験がある  
教員：－

○ニコルソン・チャールズ

## ■ 授業の目的

In this class, we will develop English skills through both listening and speaking activities, in order to be able to use English in both every day and professional situations.

## ■ 到達目標

To develop English listening and speaking skills, we will review and learn new grammar and vocabulary, in order to use them in specific, actual conversation situations. Students are expected to improve their oral English skills by learning and using new expressions for more expressive, effective English communication.

## ■ 学習の進め方

Each lecture will introduce new as well as familiar grammar patterns, and students will be expected to be prepared to use those grammar patterns during class. Each lecture will also have sections on vocabulary building and pronunciation, and students are expected to review vocabulary and practice pronunciation out of class as well. Homework will be given to review and help students remember the vocabulary and patterns from each lecture.

To develop listening skills, you also need to develop speaking skills: we will approach English listening skills by both listening practice as well as productive skills such as speaking and writing, in order to further strengthen receptive skills like listening.

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

なし

No	内容	形式	教員
1	<b>Class orientation</b> 事前学修：[15 分] Prepare a self-introduction 事後学修：[20 分] Prepare 4 sentences using adjectives	講義・演習	Nicholson
2	<b>Descriptions</b> 事前学修：[20 分] Complete the vocabulary building exercise 事後学修：[20 分] Prepare a list of adjectives to describe 4 classes of items	講義・演習	Nicholson
3	<b>Abilities and Active and Passive Vocabulary</b> 事前学修：[30 分] Review the suffixes and prepare adjectives to describe 3 more classes of items 事後学修：[30 分] Review the use of the auxiliary 'can' and prepare 3 sentences using it	講義・演習	Nicholson
4	<b>What can you do? How often do you do it?</b> 事前学修：[20 分] Review the 4 uses of the auxiliary 'can' 事後学修：[45 分] Take general quiz 1 to review what we have covered in class	講義・演習	Nicholson
5	<b>Homonyms and Antonyms</b> 事前学修：[25 分] Practice the tongue twisters on the review sheet to improve pronunciation 事後学修：[25 分] Make 6 sentences using frequency adverbs	講義・演習	Nicholson
6	<b>Definitive Relative Clauses</b> 事前学修：[20 分] Prepare sentences using relative clauses, using the patterns on the review sheet 事後学修：[45 分] Complete the Listening Quiz and Vocabulary Activity	講義・演習	Nicholson
7	<b>Non-Definitive Relative Clauses</b> 事前学修：[20 分] Prepare 5 sentences using new adverbs 事後学修：[45 分] Complete the worksheet on reading numbers in English	講義・演習	Nicholson
8	<b>Personality</b> 事前学修：[30 分] Prepare 5 positive and 5 negative adjectives to describe your personality 事後学修：[30 分] Take general quiz 2 to review the material we have covered in class	講義・演習	Nicholson
9	<b>What do you want to eat? Talking about food</b> 事前学修：[30 分] Prepare 10 sentences about what you can cook, and what you eat 事後学修：[30 分] Complete the Grammar Activity to review frequency adverbs	講義・演習	Nicholson

No	内容	形式	教員
10	<b>Comparisons</b> 事前学修：[20分] Review the grammar patterns for comparisons using adjectives and adverbs 事後学修：[45分] Take Review Quiz 1 to practice what we have learned in class	オンデマンド型	Nicholson
11	<b>Time and Numbers</b> 事前学修：[30分] Practice reading time in English from both analog and digital clocks 事後学修：[30分] Complete the listening activity on current events	オンデマンド型	Nicholson
12	<b>Where do you want to go?</b> 事前学修：[30分] Complete the geography activity 事後学修：[30分] Complete the listening activity about a news story	講義・演習	Nicholson
13	<b>Past Experiences</b> 事前学修：[20分] Complete the pronunciation review activity 事後学修：[45分] Take general quiz 3 to review and prepare for the final report	オンデマンド型	Nicholson
14	<b>Movies and Entertainment</b> 事前学修：[30分] Find a short review of a TV show or movie in English 事後学修：[30分] Complete the listening activity about an important invention	講義・演習	Nicholson
15	<b>Listening for conjunctions</b> 事前学修：[45分] Review the review and preparation assignments for Classes 2-14 事後学修：[45分] Complete the end of semester report	オンデマンド型	Nicholson

#### ■ 教科書

No textbook will be used. All material will be provided through Preparation and Review sheets.

#### ■ 参考書、参考資料等

なし

#### ■ フィードバックの仕方

Feedback on pronunciation and grammar will be given in real time, and twice a semester I will provide written feedback. If you are concerned about your grades or performance, you can ask at any time for your current grade.

#### ■ 他の授業科目との関連

N/A

#### ■ 成績評価の仕方

Class participation 50%, quizzes 30%, final exam 20%

#### ■ オフィスアワー・研究室等

Direct any inquiries to [sean.c.nicholson@gmail.com](mailto:sean.c.nicholson@gmail.com)

#### ■ 受講上の注意事項

Preparation assignments are not optional: make sure you have completed the work expected of you before each class.

#### ■ その他

SBLS101

# 英語 L S

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」コミュニティ貢献 「3」実践 実務経験がある教員：－

○キャサリン・タカスギ

## ■ 授業の目的

The purpose of this class is to use English to increase medical vocabulary, discuss current ideas, and become comfortable reading, writing, and speaking basic sentences.

## ■ 到達目標

There are 4 course objectives:

1. Increase English communicative competence (fluency and accuracy) through reading, writing, listening and speaking.
2. Enjoy using English to communicate ideas and perspectives.
3. Widen vocabulary and grammar capabilities.
4. Expand worldview on a range of global, personal, and cultural topics.

## ■ 学習の進め方

Students will be expected to listen to an introduction of a topic, prepare and reflect on that topic for the following class, then enter small group discussions with classmates. There will be readings, concepts, and personal experiences as topics for discussion. Mini presentations, one poster contest, vocabulary worksheets, and in-class worksheets will support the overall goals of the class. A written final exam with a reading, writing, and vocabulary focus will be administered at the end of the semester. There is no required textbook.

※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

See explanation below

No	内容	形式	教員
1	<b>Welcome and Introduction</b> <b>Children's Books Introduction</b> 事前学修：Be ready to work in an English only setting. 事後学修：[120 分] Introduction paper, children's books, medical vocabulary 1.	Worksheets Discussion Lecture Writing	Catherine Takasugi
2	<b>Children's Books</b> <b>The Arts Introduction</b> 事前学修：[15 分] Practice reading your children's book aloud. 事後学修：[90 分] Engage in some art, medical vocabulary 2	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
3	<b>The Arts</b> <b>Introduce a country of the world (Introduction)</b> 事前学修：[10 分] Review your Arts discussion notes. 事後学修：[90 分] Country research, medical vocabulary 3	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
4	<b>Country Introduction to the class</b> <b>Present the medical element of the country</b> <b>Random acts of kindness Introduction</b> 事前学修：[10 分] Review your Country discussion notes. 事後学修：[90 分] Random acts of kindness, medical vocabulary 4	Discussion Worksheets Lecture Writing Mini- presentation	Catherine Takasugi
5	<b>Random acts of kindness</b> <b>News articles PART 1 Introduction</b> 事前学修：[10 分] Review your Random Acts of Kindness notes. 事後学修：[90 分] News article read and prepare for discussion, medical vocabulary 5	Discussion Worksheets Reading Lecture Writing	Catherine Takasugi
6	<b>News articles PART 1 PRESENTATIONS/Discussion</b> 事前学修：[10 分] Review your News Article notes and presentation notes. 事後学修：[90 分] News Articles part 2, medical vocabulary 6	Discussion Worksheets Lecture Writing Reading	Catherine Takasugi

No	内容	形式	教員
7	<b>News articles PART 2 PRESENTATIONS/Discussion</b> 事前学修：[10分] Review your News Article notes and presentation notes. 事後学修：[60分] News Articles Part 3, medical vocabulary 7	Discussion Worksheets Reading Lecture Writing	Catherine Takasugi
8	<b>News articles PART 3 PRESENTATIONS/Discussion</b> <b>Music Introduction</b> 事前学修：[10分] Review your News Article Notes and presentation notes. 事後学修：[90分] Music worksheet, medical vocabulary 8	Discussion Worksheets Lecture Writing Listening	Catherine Takasugi
9	<b>Music</b> <b>Simplicity Introduction</b> 事前学修：[10分] Make sure you are ready for today's music lesson. 事後学修：[120分] Yoga and meditation practice, medical vocabulary 9	Discussion Worksheets Lecture Writing Listening	Catherine Takasugi
10	<b>Simplicity</b> <b>Teach the class Introduction</b> 事前学修：[5分] Come to class in clothes that you can move easily in. 事後学修：[90分] Teach the class worksheet, medical vocabulary 10	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
11	<b>Teach the class</b> <b>Sports Introduction</b> 事前学修：[10分] Review your Teach the Class notes. 事後学修：[90分] Sports Worksheet, medical vocabulary 11	Discussion Worksheets Lecture Writing Mini presentation	Catherine Takasugi
12	<b>Sports</b> <b>POSTER introduction</b> 事前学修：[10分] Review your notes on Sports. 事後学修：[60分] Poster preparation, medical vocabulary 12	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi
13	<b>POSTER- Working class</b> 事前学修：[10分] Bring Markers, pencils, rulers, to make your poster. 事後学修：[90分] Complete Poster Presentation Preparation, medical vocabulary 13	Discussion WORKING CLASS	Catherine Takasugi
14	<b>Poster Presentations</b> <b>Japanese Holidays, Culture, Special Events Introduction</b> 事前学修：[10分] Make sure your poster is ready for presentation. 事後学修：[90分] Japanese holidays, culture, special events, medical vocabulary 14	Discussion Worksheets Lecture Writing POSTER PRESENTATIONS	Catherine Takasugi
15	<b>Japanese Holidays, Culture, Special Events</b> <b>Class conclusion</b> 事前学修：[10分] Review your notes on Japanese Holidays and Events. 事後学修：There is no designated homework. Please review your notes/grammar/vocabulary for the final test.	Discussion Worksheets Lecture Writing	Catherine Takasugi

### ■ 教科書

Original materials, newspaper articles, Internet will be used. No official text book needs to be purchased.

### ■ 参考書、参考資料等

none

### ■ フィードバックの仕方

Feedback will be provided weekly for assignments, worksheets and medical vocabulary. Feedback for poster presentations will be provided in written format after they have been evaluated. Final exam feedback will be provided upon request. Students will have access to my email address if final exam detailed feedback is desired.

### ■ 他の授業科目との関連

Specific pre-study is not necessary. Students are expected to come to class prepared to work hard and to participate fully in English. I expect students to be positive and motivated. Hard work and active participation will be rewarded.

### ■ 成績評価の仕方

Weekly assignments 30%

Poster Presentation 8%

Medical Vocabulary 7%

Participation and Attitude 5%

In-class worksheets 20%

Final Exam 30%

### ■ オフィスアワー・研究室等

Available upon request

### ■ 受講上の注意事項

This class will be entirely in English.

### ■ その他

SBLS101

# 中国語Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 実務経験がある教員：－

○神谷智幸

## ■授業の目的

中国語は、母語とする人口が世界で最も多く、国連(国際連合)の公用語のひとつでもある。この授業では、中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得した上で、簡単な挨拶と会話、さらには簡単な自己紹介ができるようになることを目的とする。

## ■到達目標

1. 中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得する。
2. 中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
3. 名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
4. 日本と中国の文化の違いに気づき、理解を深める。

## ■学習の進め方

オンデマンド型の授業は以下のように進める。

1. 毎回の授業ビデオについて要点をノートにまとめながら、視聴する。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、毎回小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

同時双方向型の授業では、上記に加え4を実施する。

4. 各回、解説ビデオを視聴するか資料を閲覧し、自己紹介に関する表現の発音と文法をひとつずつ学習する。その上で、教員との実際に会話練習を行う。

授業後は自己紹介ができるようくりかえし復習する。

この授業は、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し習得することを求める。授業形式は「オンデマンド型」と「同時双方向型」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。クイズなどの実施を通じて、ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。

授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

## ■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(1) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：①中国の人口 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
2	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(2) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：②中国人に多く見られる苗字 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
3	1. 中国・中国語について知りたいことを調べ・考え・まとめる(3) 2. 中国に関する基礎情報について調べる：③香港とマカオ(澳門)は何年にどこから返還されたか 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	神谷
4	発音(1)：中国語についての概要と声調 事前学修：[15分] 事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書7-9頁に目を通しておく。 事後学修：[45分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、12頁の「声調」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷

No	内容	形式	教員
5	<b>発音(2): 単母音</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、12頁の「声調」を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、11頁の「単母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
6	<b>発音(3): 子音(前半)・二重母音</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、11頁の「単母音」を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、13頁「子音(前半)」・19頁「二重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
7	<b>発音(4): 子音(後半)・三重母音</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、13・19頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、13頁「子音(後半)」・19頁「三重母音」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
8	<b>発音(5): 二重母音と三重母音のまとめ・n、ngを含む母音(全体の概要)・数字1～10の言い方</b> <b>第1課 新出語句・「名前の言い方」</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、13・19頁の「子音」と「二重母音」を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上でよく復習し、14頁「新出語句」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
9	<b>発音(6): n、ngを含む母音(前半)・軽声</b> <b>第1課 会話・文法ポイント解説(挨拶①など)</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14頁の単語を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、14頁「会話」は正しい発音の後についてくりかえし練習する	オンデマンド型	神谷
10	<b>発音(7): n、ngを含む母音(後半の概要)・変調</b> <b>第1課 補足語句・ドリル</b> <b>【同時双方型(1)】名前(苗字)を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14頁の会話を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、名前(苗字)の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
11	<b>発音(8): n、ngを含む母音(後半)</b> <b>第2課 挨拶②・「数字の言い方」</b> <b>【同時双方型(2)】誕生日を紹介する</b> 事前学修: [60分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、14-18頁の第1課の内容を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、誕生日の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
12	<b>発音のまとめ(1): ピンイン書き換えのルール</b> <b>第2課 新出語句・会話・補足語句</b> <b>【同時双方型(3)】住まい(実家)を紹介する</b> 事前学修: [30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、21頁の「数字の言い方」を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷
13	<b>発音のまとめ(2): 親族名称と変調</b> <b>第2課 ペアワーク・ドリル</b> <b>第3課 新出語句・“的”「～の」解説</b> <b>【同時双方型(4)】家族を紹介する</b> 事前学修: [60分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、20-22頁の第2課の内容を復習する 事後学修: [60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、家族の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方型 のミックス	神谷

No	内容	形式	教員
14	<b>第3課 会話・指示代名詞</b> <b>〔同時双方向型(5)〕好きな食べ物を紹介する</b> 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回声に出し確認する、26頁の単語を復習する 事後学修：[60分] 解説ビデオの内容をノートにきれいにまとめた上で復習し、好きな食べ物や趣味の紹介ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	神谷
15	<b>第3課 補足語句・ドリル</b> <b>〔同時双方向型(6)〕自己紹介総合練習</b> 事前学修：[60分] 前期に学んだ表現を用いて自分自身の「自己紹介」を書く 事後学修：[120分] 教科書全体を復習し発音と筆記の練習をする、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する	オンデマンド型 と同時双方向型 のミックス	神谷

### ■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』.初版. 白帝社

### ■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』.初版. 集英社

### ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出後3週間以内にコメントを付して返却する

### ■ 他の授業科目との関連

この科目は中国語Ⅱの履修要件となっています。

### ■ 成績評価の仕方

Glexa における毎回の小テスト 55 %、定期試験に代わる課題(レポート・口述試験) 5 %、実技(音声ファイル提出と zoom への参加による発音練習・会話練習) 20 %、授業への取り組み 20 %(内訳は授業前期ノート 10 %、4月の自宅学習課題と各回の復習問題・クイズ問題の実施を総合して 10 %)

### ■ オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける。

### ■ その他

HBLS104



# 中国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 実務経験がある教員：－

○神谷智幸

## ■ 授業の目的

中国語は、母語とする人口が世界で最も多く、国連(国際連合)の公用語のひとつでもある。この授業では、中国語の発音と基礎的な文法を理解、習得した上で、簡単な日常会話と医療現場で使う簡単な表現が話せるようになることを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 中国語の発音をより速く正確にできるようになる。
2. 簡単な日常会話と医療現場で使う簡単な表現が話せるようになる。
3. 日本と中国の文化の違いに気づき、理解を深める。

## ■ 学習の進め方

授業は以下のように進める。前半は日常会話を習得するための練習を行う。後半は基本的にテキストの内容に沿って進める。テキストを熟読し、授業に臨むこと。

1. 正確で自然な発音を習得するため、テキストの音声の後に繰り返し音読する。
2. 中国語をアウトプットする練習として、音声認識ソフトや PC に用いた入力法を解説・練習する。
3. 発音や新出単語の定着度を測るため、小テストをほぼ毎回行う。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音を練習し習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚および現代中国社会の時事問題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>ガイダンス</b> 事前学修：[30分] 中国語Ⅰで配布した資料やノートを整理し、見返しておく 事後学修：[60分] 中国語Ⅰで学習した内容をすべて復習する	講義	神谷
2	<b>会話小テスト(1)、第4課 発音総合練習</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 1-3)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 31-32 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
3	<b>会話小テスト(2)、第4課 新出語句、会話</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 4-7)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 33 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
4	<b>会話小テスト(3)、第4課 文法ポイント</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 8-10)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 34-35 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
5	<b>会話小テスト(4)、第5課 新出語句、会話</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 11-14)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 38 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
6	<b>会話小テスト(5)、第5課 文法ポイント(1)</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 15-17)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 39 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
7	<b>会話小テスト(6)、第5課 文法ポイント(2)</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 18-21)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 40 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
8	<b>会話小テスト(7)、第4課・第5課まとめ</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 22-25)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[60分] 教科書 31-43 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
9	<b>会話小テスト(8)、第6課 新出語句、会話</b> 事前学修：[60分] 小テスト(会話 26-29)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 44 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷

No	内容	形式	教員
10	会話小テスト(9)、第6課 文法ポイント 事前学修：[60分] 小テスト(会話 30-33)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 45-46 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
11	会話小テスト(10)、第6課 まとめ 事前学修：[60分] 小テスト(会話 34-37)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[60分] 教科書 44-48 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
12	会話小テスト(11)、第7課 新出語句、会話 事前学修：[60分] 小テスト(会話 38-41)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 49-50 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
13	会話小テスト(12)、第7課 文法ポイント 事前学修：[60分] 小テスト(会話 42-45)に出題される文を覚えるまで発音し、書く 事後学修：[30分] 教科書 50-51 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
14	第7課 まとめ 事前学修：[60分] 第7課の復習をし、発音と筆記の練習をする 事後学修：[60分] 教科書 49-53 頁の音声の後について発音練習を 10 回以上する	講義・演習	神谷
15	会話総合練習 全体の定着度の確認 事前学修：[60分] 学んできた会話文の発音と筆記の練習をする 事後学修：[60分] 授業を通じて気付いたこと、自身の認識の変化を文章にまとめる	講義・演習	神谷

### ■ 教科書

李偉・管虹著(2018).『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』. 初版. 白帝社

### ■ 参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に口頭での解説を行う。

### ■ 他の授業科目との関連

中国語Ⅱは中国語Ⅰの理解に基づき、より発展的な内容を扱います。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組みと小テスト(60%)、定期試験(40%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

### ■ 受講上の注意事項

分からないことがあれば、授業中でもためらわずに質問してください。

### ■ その他

HBLS153

# 韓国語Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－

○高昌弘

## ■授業の目的

韓国語を表記する文字ハングルの書き方・読み方、基礎的な文法項目を理解し、それに基づいた表現を身に付けるようにする。日本語との類似点、相違点に注意しながら学ぶ。韓国語を表す文字であるハングルの読み・書きから始め、ハムニダ体、ヘヨ体、叙述、疑問、否定、過去形などの初歩的な文法に基づいた表現を身につけ、簡単な会話ができるようになることを目指す。

## ■到達目標

1. ハングル文字や発音を徹底してマスターする。
2. ハングル能力検定試験 5 級レベルの語彙や文法表現を学習する。
3. 毎年、6 月と 11 月に行われているハングル能力検定試験 5 級にチャレンジする。

## ■学習の進め方

対面授業ができないため、小テストの代わりに課題や発表の形でちゃんと学習しているかどうかを確認する。授業では例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

## ■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	課題 (1) 事前学修：なし 事後学修：[0分] なし	自宅学習	高
2	課題 (2) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	高
3	課題 (3) 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	高
4	「韓国語とは?」「ハングルの基本母音」 事前学修：[10分] ハングルの仕組みについて調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習したハングルの「基本母音」をしっかりと覚える。	オンデマンド型	高
5	「子音 (1)」と「子音 (2)」 事前学修：[10分] 韓国語の「平音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音 (1)」と「子音 (2)」をしっかりと覚える。	オンデマンド型	高
6	「子音 (3)」と「子音 (4)」 事前学修：[10分] 韓国語の「激音」と「濃音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「子音 (3)」と「子音 (4)」をしっかりと覚える。	オンデマンド型	高
7	「合成母音」と「パッチム」 事前学修：[10分] 韓国語の「合成母音」と「濃音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「合成母音」と「パッチム」をしっかりと覚える。	オンデマンド型	高
8	「二重パッチム」と「発音の変化 (1)」 事前学修：[10分] 韓国語の「連音化」と「Hの弱音化」と「濃音化」について調べてみる こと。 事後学修：[60分] 今回学習した「発音の変化 (1)」と「挨拶表現」をしっかりと覚える。	オンデマンド型	高
9	「発音の変化 (2)」と「ハングル練習」 事前学修：[10分] 韓国語の「流音化」と「口蓋音化」と「鼻音化」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「発音の変化 (2)」と「挨拶表現」をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高
10	「発音の変化 (3)」と「単語(5級-1)」と「今日の文法(第1課)」 事前学修：[10分] 韓国語の「激音化」と「母音 [ウイ] の発音」について調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した「発音の変化 (3)」と単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高

No	内容	形式	教員
11	<b>「単語(5級-2)」と「今日の文法(第2課)」</b> 事前学修：[10分] 韓国語の「挨拶・相槌表現(08)」の意味を調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高
12	<b>「単語(5級-3)」と「今日の文法(第3課)」</b> 事前学修：[10分] 韓国語の「挨拶・相槌表現(09)」の意味を調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高
13	<b>「単語(5級-4)」と「今日の文法(第4課)」</b> 事前学修：[10分] 韓国語の「挨拶・相槌表現(10)」の意味を調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高
14	<b>「単語(5級-5)」と「今日の文法(第5課)」</b> 事前学修：[10分] 韓国語の「挨拶・相槌表現(11)」の意味を調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高
15	<b>「単語(5級-6)」と「今日の文法(第6課)」</b> 事前学修：[10分] 韓国語の「挨拶・相槌表現(12)」の意味を調べてみること。 事後学修：[60分] 今回学習した単語と文法をしっかりと覚える。	遠隔授業 (Zoom)	高

### ■教科書

毎回、資料をメールで送る

### ■参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキスト ペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

### ■フィードバックの仕方

毎回、全員にハングルが読めるかどうかを確認し、学習した文法表現を使って書いた例文を発表してもらう。

### ■他の授業科目との関連

特になし

### ■成績評価の仕方

授業への取組み 45%+課題 45%+テスト 10%

### ■オフィスアワー・研究室等

随時、電子メールで質問を受け付ける

### ■その他

SBLS103

# 韓国語Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある  
教員：－

○高昌弘

## ■ 授業の目的

韓国語Ⅰで学んだ文法及び表現を確認しながら、さらに上のレベルの文法や表現を練習し、バランスのとれた「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を身に付ける。その中でも特に「書く」「話す」力に重点をおく。韓国語は日本語と似ているところが多い、似ているからこそ難しいところがある。そういう点にも注意を払いながら、より自然な韓国語の習得を目指す。

## ■ 到達目標

- ①ハングル能力検定試験5級レベルの文法や語彙表現を学習する。
- ②ハングル能力検定試験の過去問などを使って試験対策を行い、5級程度の実力をつける。
- ③毎年、6月と11月に行われているハングル能力検定試験5級にチャレンジする。

## ■ 学習の進め方

(講義・演習)

授業の始めに前回学習した内容(語彙や文法など)の小テストを毎回行う。その代わりに定期試験は行わない。前期と同じように例文など、ただ先生の後について読むのではなく、学生が自ら読んだり、学習した文法を使って書いた作文を発表するなど、学生が積極的に参加・活動できるように進めていく。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「目的を表す表現」と「助詞」と「5級単語(10)」 「～するために」という文法表現と韓国語の助詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するために」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、助詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
2	「意思を表す表現」と「漢字語数詞」と「5級単語(11)」 「～するつもりだ」という文法表現と日本語の「一・二・三」に当たる漢字語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～するつもりです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、漢字語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
3	「理由を表す表現」と「固有語数詞」と「5級単語(12)」 「～して・ので」という文法表現と日本語の「一つ・二つ・三つ」に当たる固有語数詞を学習する。 事前学修：[10分]「～して・ので」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、固有語数詞と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
4	「進行を表す表現」と「位置」と「5級単語(13)」 「～しているところだ」という文法表現と位置を表す言葉を学習する。 事前学修：[10分]「～しているところです」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、位置を表す言葉と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
5	「経験を表す表現」と「挨拶・相づち①」と「5級単語(14)」 「～したことがある」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～したことがある」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
6	「依頼表現」と「挨拶・相づち②」と「5級単語(15)」 「～してください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～してください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
7	「禁止表現」と「挨拶・相づち③」と「5級単語(16)」 「～しないでください」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しないでください」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高

No	内容	形式	教員
8	「原因や理由を表す表現」と「挨拶・相づち④」と「5級単語(17)」 「～するから」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～するから」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
9	「義務や意志を表す表現」と「挨拶・相づち⑤」と「5級単語(18)」 「～しなければならない」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～しなければなりません」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
10	「意志表現」と「挨拶・相づち⑥」と「5級単語(19)」 「～する!(意志)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～します!!! (意志)」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
11	「可能表現」と「挨拶・相づち⑦」と「5級単語(20)」 「～できる(可能)」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～できます」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
12	「残念な気持ちや完了の意味を表す表現」と「挨拶・相づち⑧」と「5級単語(21)」 「～してしまう」という文法表現と挨拶・相づち表現を学習する。 事前学修：[10分]「～してしまいました」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、挨拶表現と単語を覚える。	「講義」「演習」	高
13	「勧誘及び確認の表現」と「用言の変則①」と「5級単語(22)」 「～しましょう」という文法表現と子音「L(子音)」脱落用言を学習する。 事前学修：[10分]「～しましょう」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、変則①を理解し、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
14	「目的を表す表現」と「用言の変則②」と「5級単語(23)」 「～しに」という文法表現と「ウ(母音)」脱落用言を学習する。 事前学修：[10分]「～しに」を使って日本語の例文を考えてくること。 事後学修：[60分]今回学習した文法表現を使って例文を作り、変則②を理解し、単語を覚える。	「講義」「演習」	高
15	「映画鑑賞」 韓国の映画を観ながら成績について個人面談を行う。 事前学修：なし 事後学修：なし	「その他」	高

## ■教科書

毎回、プリントを配る予定

## ■参考書、参考資料等

ハングル能力検定協会(2014)『「ハングル」検定 公式テキストペウギ 5級』

ハングル能力検定協会(2016)『「ハングル」検定 公式ガイド 新装版 合格トウミ 初級編4・5級』

ハングル能力検定協会(2019)『ハン検 過去問題集 5級』

## ■フィードバックの仕方

小テストのフィードバックは、試験終了直後に、口頭で解説または解説資料の配布を通じて行う。

## ■他の授業科目との関連

韓国語Ⅱは韓国語Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

## ■成績評価の仕方

授業への取組み 50%、小テスト 50%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■受講上の注意事項

韓国語Ⅰを履修していることが望ましいが、履修していなくてもハングルが読めて初級レベルの単語や文法表現を知っていれば受講できる。

■ その他  
SBL5153

# 基礎ゼミ I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある  
教員：－

○遠藤公久、他

## ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 看護を研究するプロセスについて学ぶ。
2. 研究した内容について記述する方法について理解する。
3. 論理的な思考能力を高める。

## ■ 学習の進め方

資料をもとに、それぞれが疑問点や意見を発表し、看護研究の流れを学び、進め方、まとめ方について理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己紹介、文献検索の方法を学習する。 事前学修：[10分] 授業に備えてシラバスを読んでおく 事後学修：[10分] 配布資料を通読してくる	双方向型	遠藤
2	文献検索の方法を復習する(自分の関心のあるテーマについて検索)。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	自宅学習	遠藤
3	PCでWordの基本操作と3種類の引用のスタイル(APA方式)を学ぶ。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
4	引用スタイルを復習する。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	自宅学習	遠藤
5	(前半)課題について解説 →第5回目分 (後半)APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を学習する。→第6回目分 時間があれば練習問題シート2についても取り組む。残った問題については、解答も配布する。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
6	(前半)課題について解説 →第5回目分 (後半)APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を学習する。→第6回目分 時間があれば練習問題シート2についても取り組む。残った問題については、解答も配布する。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
7	練習問題シート2を活用し、APAスタイルを用いた文献リストの作成方法を復習する。 正解を参考にしてさらに練習をする。 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	自宅学習	遠藤
8	指定図書に対する自分の意見をレジュメで発表、討論 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
9	研究論文の読解、討論(1回目) 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
10	研究論文の読解、討論(2回目) 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤



No	内容	形式	教員
11	<b>レポート作成のための個別指導</b> 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
12	<b>レポート作成のための個別指導</b> 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
13	<b>レポート中間発表会</b> 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
14	<b>文章の書き方についての個別指導</b> 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく 事後学修：[10分] 授業についてコメントを考える	双方向型	遠藤
15	<b>文章の書き方についての個別指導</b> 事前学修：[30分] 選択した資料を読んで疑問や意見を考えておく	双方向型	遠藤

### ■教科書

プリントを配布する。

### ■参考書、参考資料等

とくにない

### ■フィードバックの仕方

レポートを返却希望者は、後期授業前に研究室まで来てください。

### ■他の授業科目との関連

この科目の発展的科目として、基礎ゼミⅡならびに研究方法論ⅠⅡがある。

### ■成績評価の仕方

レポート 50%、取り組み 50%、

### ■オフィスアワー・研究室等

常時 Glexa で質問等に回答する。

### ■その他

SBFS100

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務経験がある  
教員：－

○遠藤公久

## ■ 授業の目的

対人関係や対人コミュニケーションを中心テーマに据えて、普段私たちが日常生活で不思議に思っていることを取り上げて検証することで、科学的に探求する態度を身につける。大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 対人関係や対人コミュニケーションについて探求する態度をもつことができる。
2. 調査法(実験法)などの研究方法について知ることができる。
3. グループワークを通して、対人関係を深める。
4. 効果的なプレゼンテーションについて学習する。

## ■ 学習の進め方

基本的にはグループ(2名または3名)活動である。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[10分] シラバスに目を通しておく 事後学修：[15分] 来週までに興味のあるテーマを考えてくる。	講義	遠藤
2	<b>考えてきたテーマ発表(キーワード)する。</b> 事前学修：[10分] 自分の取り上げたいテーマを考えてくる 事後学修：[10分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる	発表・討論	遠藤
3	<b>いくつかにまとめられたテーマから、自分の検討したいテーマを決定し、グループになる。</b> 事前学修：[10分] 来週までにさらにテーマを絞ってくる 事後学修：[10分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく	発表、討論	遠藤
4	<b>グループワーク1：各グループでテーマについて討論し、検証したい現象について考える。</b> 事前学修：[10分] 決定したテーマについて、何を調べたいのか考えておく 事後学修：[10分] さらにテーマについて具体的に考えておく	討論	遠藤
5	<b>グループワーク2：検証したい現象などについて、さらにグループで考え、また調べてみる。</b> 事前学修：[10分] さらにテーマについて具体的に考えておく 事後学修：[10分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める	討論	遠藤
6	<b>グループワーク3：調べたことをもとに、検証したいことについてさらに深めてみる。</b> 事前学修：[10分] 調べたことを取り入れて、さらに具体化を進める 事後学修：[10分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく	討論	遠藤
7	<b>グループワーク4：調べたいテーマについて、グループとして具体的な仮説と検証方法について考えてみる。</b> 事前学修：[10分] 仮説や検証方法などを考え、調べておく 事後学修：[10分] 特に無い	発表、討論	遠藤
8	<b>グループワーク5：検証方法について具体化していく。(例えば、質問紙作成など)</b> 事前学修：[10分] 特に無いが、検証方法について考えておく 事後学修：[10分] 検証方法を具体化する	討論	遠藤
9	<b>グループワーク6：検証方法についてさらに具体化する。</b> 事前学修：[10分] 検証方法を具体化する 事後学修：[10分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える	討論	遠藤
10	<b>グループワーク7：各グループで出された検証方法について、グループで発表して修正箇所などをみつける。</b> 事前学修：[10分] 検証したいこととその方法との対応があっているか考える 事後学修：[10分] 調査(実験)の準備を進めておく	討論	遠藤

No	内容	形式	教員
11	グループワーク8：修正箇所を取り入れて、完成版を作成する。 また、調査(実験)などをスタートする。 事前学修：[15分] 調査(実験)の準備を進めておく 事後学修：[30分] 次回までに調査(実験)を終了しておく	討論	遠藤
12	グループワーク9：調査(実験)結果などを持ち寄り、データ入力(エクセル)する。 事前学修：[60分] 次回までに調査(実験)を終了しておく 事後学修：[60分] データ入力を終了しておく(エクセル入力)	討論	遠藤
13	グループワーク10：分析結果(単純集計など)をもとに、発表の準備をする。 事前学修：[30分] データ入力を終了しておく(エクセル入力) 事後学修：[30分] 分析結果について解釈を進める	討論	遠藤
14	グループワーク11：各グループで発表の準備をする。 事前学修：[30分] 分析結果について解釈を進める 事後学修：[30分] パワーポイントについて慣れる	討論	遠藤
15	発表：各グループで研究したことについて発表し(パワーポイント)、質疑応答を体験する。 事前学修：[60分] パワーポイント資料を完成しておく 事後学修：[15分] 授業全体についてコメントを作成する	発表・討論	遠藤

### ■ 教科書

使用しない。各人、各グループで調べた資料

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

発表のときにコメントをする。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. グループ発表の内容(50%)。

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00、遠藤公久(404 研究室)。

### ■ 受講上の注意事項

調査(実験)期間(数日間)が必要になることがあります。

### ■ その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 実務経験がある教員：－

○鷹田佳典

## ■ 授業の目的

大学では多くの文献・資料を読み、そこから新たな知識や情報を得たり、それらを踏まえて自分の考えを述べたりすることが重要になります。また、複数の人と協力して作業をしたり、討論をして相互理解を深めたりする場面も多くあります。本講義では「平成」をテーマに、資料収集、文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッションに必要な基礎力の習得を目指します。

## ■ 到達目標

1. 図書館やオンライン・データベースを活用して文献検索を行うことができる。
2. パソコンで資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行うことができる。
3. 他者と協同しながら、グループワークを効果的に進めることができる。

## ■ 学習の進め方

講義・GW・発表・討論

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション：講義の進め方についての説明、教員・受講生自己紹介</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた一番印象に残った出来事についての感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 課題実施のためのスケジュールをたてる。	同時双方向型	鷹田
2	<b>文献読解、レジュメ作成、プレゼンテーションの基礎</b> 事前学修：[30分] TEDを視聴し、どんなところがよかったのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
3	<b>戦後日本社会を振り返る。</b> 事前学修：[30分] 昭和の年表を確認し、最も印象に残った出来事をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 昭和とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
4	<b>平成の年表を完成させる。【政治編】</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた【政治】に関する出来事をひとつ調べておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
5	<b>平成の年表を完成させる。【経済編】</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた【経済】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
6	<b>平成の年表を完成させる。【国際編】</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた【国際】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
7	<b>平成の年表を完成させる。【文化編】</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた【文化】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
8	<b>平成の年表を完成させる。【社会編】</b> 事前学修：[30分] 平成で起きた【社会】に関する出来事をひとつ調べ、概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
9	<b>中間のまとめ</b> 事前学修：[60分] 平成に関連する文献をリストアップし、文献一覧を作成しておく。 事後学修：[30分] 平成に関する文献リストを完成させる。	同時双方向型	鷹田
10	<b>平成を読み解く。【政治編】</b> 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

No	内容	形式	教員
11	<b>平成を読み解く。【経済編】</b> 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
12	<b>平成を読み解く。【国際編】</b> 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
13	<b>平成を読み解く。【文化編】</b> 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
14	<b>平成を読み解く。【社会編】</b> 事前学修：[60分] 課題資料に目を通し、感想・意見をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田
15	<b>まとめ：平成とはどんな時代だったのか、平成以後はどんな時代になるのか。</b> 事前学修：[30分] 平成について議論したいテーマをひとつあげ、論点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 平成とはどんな時代だったのかについて要点をまとめておく。	同時双方向型	鷹田

### ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

### ■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

発表内容について、授業内でフィードバックします。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I で学習した内容を確認しておくこと。

### ■ 成績評価の仕方

グループワーク(30%)、プレゼンテーション(30%)、ディスカッションへの参加(40%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

Glexa で質問を受け付けます。

### ■ 受講上の注意事項

パソコン(ワード、パワーポイント)の基礎的スキルが必要になります。

### ■ その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 実務経験がある教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。基礎ゼミⅠで学んだことを基にして、少人数グループにおける発表、討論などを実践し、興味を持ったテーマを探求し、さらに自己発信ができることを目的とする。当ゼミの柱となるテーマとして、スポーツ(運動)と健康、女性、障害者、ライフスタイルなどについて、学術文献を基に考えを発表し、討論していく。

## ■ 到達目標

自らの理解したことや意見をまとめて、論理的で平易かつ明瞭に聞き手に伝える実践力を養う。

## ■ 学習の進め方

各テーマについて、自身で興味をもてた内容を探求し、自身の意見を発表し、討論を促す。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、自己紹介、グループ分け、自由テーマの選定	講義 発表	白井
2	自由テーマについての発表・討論	発表、討論	白井
3	指定テーマについての説明	講義	白井
4	個別学習またはグループワーク	演習	白井
5	指定テーマについての発表・討論(1)	発表、討論	白井
6	指定テーマについての発表・討論(2)	発表、討論	白井
7	指定テーマについての発表・討論(3)	発表、討論	白井
8	個別またはグループワーク	演習	白井
9	グループワーク	演習	白井
10	まとめ	発表、討論	白井
11	指定テーマについての説明	講義	白井
12	個別学習またはグループワーク	演習	白井
13	指定テーマについての発表・討論	発表、討論	白井
14	総括プレゼンテーション準備	演習	白井
15	総括プレゼンテーション	発表、討論	白井

## ■ 教科書

必要に応じて担当教員もしくは学生が資料を配付する。

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介するが、原則として学生が自ら選ぶ。

## ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは返却時にコメントをつけて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

当科目は、1年次前期の「基礎ゼミⅠ」(必修科目)の応用発展的科目である。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(30%)、プレゼンテーション(40%)、グループワークおよびディスカッションへの貢献(30%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■ その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」成長 実務経験がある  
教員：－

○角田敦彦

## ■ 授業の目的

本ゼミでは、国際協力分野(紛争・災害など)に関する事柄に関して学生各自が興味を持ったニュースや記事を検索し要約する。また、これを他者に分かりやすく発表する技術、また、他者の発表を聞き質問や自分の意見を述べるスキルを身につけることを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・自分が関心を持つ分野のニュースや記事を探索的に読み、関心を持った事柄についてわかりやすく論理的に他者に伝えることができる。
- ・他者の発表を聞き、それに対する質問や意見をまとめ、討論できる。

## ■ 学習の進め方

- ・学生が自分の関心を持ったニュースや記事を検索し、要約し発表する。
- ・発表を聞き、質疑を行う。
- ・教員がコメントを行う。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースガイダンス 効果的なプレゼンテーション 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅠの内容を復習し、文献検索の方法などについてまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する。	講義・討論	角田
2	テーマの決定と関係するニュース・記事等の検索 事前学修：[30分] 関心あるテーマを複数検討し、取り組みたい理由などをまとめておく。 事後学修：[30分] 決定したテーマの論文を入手し、発表の準備をする。	演習	角田
3	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
4	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
5	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
6	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
7	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
8	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
9	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
10	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
11	発表と質疑・討論 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田

No	内容	形式	教員
12	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
13	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
14	<b>発表と質疑・討論</b> 事前学修：[30分] 論文を要約し発表の準備をする。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	演習・討論	角田
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] これまでの討論を振り返り整理する。 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する。	討論	角田

### ■ 教科書

ゼミの中で適宜指示する。

### ■ 参考書、参考資料等

なし

### ■ フィードバックの仕方

各回の発表後、学生相互のディスカッションを踏まえ、教員からコメントする。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミⅠの学習内容に基づき、発展的な内容を扱う。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、プレゼンテーションの準備、内容、態度 50%、質疑、討論への参加度 30%

### ■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:30～13:00 410 研究室

### ■ その他

SBFS150



# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○渋谷 真樹

## ■ 授業の目的

この授業は、基礎ゼミⅠでの学習成果を文献の検索や読解、討論、発表などにおいて応用し、探究する力をさらに伸ばすことを目的としています。

国際連合(国連)は、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」(SDGs)として、「すべての人に健康と福祉を」や「質の高い教育をみんなに」といった目標を17個、掲げています。

本ゼミでは、このSDGsに基づいて、各自や小グループでテーマを設定して調査し、クラスで発表・討論をしていきます。

## ■ 到達目標

- 1 自らの問題意識に沿って、文献を検索し、読解した上で、簡潔に発表することができる。
- 2 インタビューや参与観察といった研究方法を理解し、基礎的な実践ができる。
- 3 調べたことや考えたことを、根拠に基づいて、論理的に発表することができる。

## ■ 学習の進め方

AL

一部、講義がありますが、主要な部分は、学生主体のグループワークや発表、討論です。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[30分] 基礎ゼミⅡで学びたいこと、身に付けたい力を考える。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
2	<b>SDGsとは：国連の「持続可能な開発目標」</b> 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷
3	<b>テーマの設定とグループ作り</b> 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	討論・GW	渋谷
4	<b>研究テーマの焦点化と研究方法の検討</b> 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW	渋谷
5	<b>先行研究の検討①</b> 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
6	<b>先行研究の検討②</b> 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
7	<b>先行研究の検討③</b> 事前学修：[60分] 自らの課題を解決するために必要な先行研究を検索・入手し、読解した上で、簡潔にまとめる。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
8	<b>調査の方法：参与観察・インタビュー</b> 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	演習	渋谷
9	<b>調査の実施と分析①</b> 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
10	<b>調査の実施と分析②</b> 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
11	<b>調査の実施と分析③</b> 事前学修：[60分] 自らのテーマに沿って調査を実施し、分析する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	GW・発表・討論	渋谷
12	<b>調査結果の発表・討論①</b> 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
13	<b>調査結果の発表・討論②</b> 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
14	<b>調査結果の発表・討論③</b> 事前学修：[60分] 自らの研究を伝えるために、口頭発表の準備をするとともに、パワーポイントや配布資料を作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、わかった点や疑問点を整理する。	発表・討論	渋谷
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] 指定課題について、自分の考えや疑問を書き出す。 事後学修：[30分] 授業全体を通して、学んだこと、身についたこと、疑問点を整理する。	講義・討論	渋谷

## ■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介しますが、原則的には、学生自らが検索して入手します。

## ■ フィードバックの仕方

本授業は、教員と受講生との対話を主としています。

口頭発表や配布資料については、授業内でその都度フィードバックします。

## ■ 他の授業科目との関連

「基礎ゼミⅠ」の応用発展的科目です。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)

グループでの発表(50%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーが決定し次第、お知らせします。

## ■ その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

## ○逸見功

### ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。

本ゼミでは特に下記の2点について重きを置く。

- ・クリティカルシンキングについて学ぶ。
- ・根拠に基づく考え方について学ぶ。

### ■ 到達目標

1. 論理的思考ができる。
2. 根拠に基づいて意見を述べることができる。
3. 人前での発表ができる。

### ■ 学習の進め方

ひとつのテーマを2回に分けて進める。

1回目：課題文にもとづいて賛否いずれの主張に説得力があるかをグループで議論し、発表する。

2回目：担当者の資料内容の紹介によりクリティカルシンキングのスキルと知識について学ぶ。それらを活用して、学生同士で意見交換しながら議論の課題に取り組んだ結果について発表する。

### ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション：クリティカルシンキングの方法</b> 事前学修：[15分] どのような科学技術に関心があるかを中心に自己紹介する準備をする。 事後学修：[15分] 配付資料を読み返す。	講義, 演習, 発表	逸見
2	<b>遺伝子組換え作物(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
3	<b>遺伝子組換え作物(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見
4	<b>喫煙を認めるか否か(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
5	<b>喫煙を認めるか否か(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見
6	<b>乳がん検診を推進すべきか(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
7	<b>乳がん検診を推進すべきか(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論	逸見
8	<b>地球温暖化への対応(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
9	<b>地球温暖化への対応(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み、討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見

No	内容	形式	教員
10	<b>宇宙科学・探査への公的な投資(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
11	<b>宇宙科学・探査への公的な投資(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み, 討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見
12	<b>地震の予知(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
13	<b>地震の予知(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み, 討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見
14	<b>動物実験の是非(1)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の背景説明と議論の項を読む。 事後学修：[20分] ゼミでの討論内容を振り返る。	討論, 発表	逸見
15	<b>動物実験の是非(2)</b> 事前学修：[30分] 配付資料の知識とスキルの項を読み, 討論を考える。 事後学修：[40分] テーマについて賛否いずれかの立場から議論を組み立て、A4用紙2枚にまとめる。	演習, 討論, 発表	逸見

## ■教科書

資料を配付する。

## ■参考書、参考資料等

伊勢田哲治ほか編(2013). 科学技術をよく考える. 名古屋大学出版会.  
廣野喜幸(2013). サイエンティフィック・リテラシー. 丸善.

## ■フィードバックの仕方

課題のフィードバックは、授業時あるいは授業終了後に行う。

## ■他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はないが、大学における学修のための基礎となるスキルを扱う。

## ■成績評価の仕方

発表 30%、課題 40%、議論への参加 30%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 実務経験がある教員：-

○宮崎正峰

## ■ 授業の目的

大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶ。具体的なテーマとしては、動物の行動に着目し、ヒトとの共通点、相違点を見ることで動物の行動の理解を深めるだけでなく、ヒトの行動や思考にも関連付けて考えていく

## ■ 到達目標

1. 文献など情報を調べる方法を身につける
2. プレゼンテーションをわかりやすく出来るようにする
3. 自分の意見を簡潔に発表できるようにする

## ■ 学習の進め方

講義および演習の形式で行います。動物はワンパターンに行動をしているように思えるかもしれませんが、それぞれの行動が理にかなっており、また環境や状況に応じてその行動を変化させ適応して生きています。変化に応じて生きなければ生き残れないからです。動物の行動の中でも特に配偶者選択というテーマを中心に扱って、彼らがどのように自分のつがい相手を選んでいるのか、動物の「恋」について見ていきたいと思えます。何らかの基準を持って相手を選ぶ動物がいる一方、果たしてヒトはどのような基準で相手を選んでいるのでしょうか。自らに置き換えて考えていくと興味深いものになると思えます。

グループワークによって、協力して調査したり、発表の準備をすすめていくことで他人の考え方や意見を客観的に見て、尊重するという態度をみにつけることの大切さを学びます。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・グループ分け 事前学修：[20分] 自己紹介について準備する 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	講義	宮崎
2	「動物の葛藤」 どのように生きるのがベストか 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	議論	宮崎
3	「動物行動学」 動物の配偶者選択(つがい相手を選ぶ基準) 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 配布資料を読み返すとともに次回以降のテーマについて検討する	議論	宮崎
4	「動物の性選択の具体例」 グループ発表 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
5	「Song」 ヒトの配偶者選択 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
6	「ドラマ」 ヒトの配偶者選択 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
7	「映画」 ヒトの配偶者選択 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
8	「理想(1)」 個人発表 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
9	「理想(2)」 個人発表 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
10	「外見・身体的能力」 ヒトの場合の選択基準(1) 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎

No	内容	形式	教員
11	<b>「収入」 ヒトの場合の選択基準 (2)</b> 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
12	<b>「名誉」 ヒトの場合の選択基準 (3)</b> 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
13	<b>「性格」 ヒトの場合の選択基準 (4)</b> 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
14	<b>グループ発表(1)</b> 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 次回の討論のテーマについて調べる	議論、発表	宮崎
15	<b>グループ発表(2)</b> 事前学修：[30分] 指定テーマの発表および討論の準備 事後学修：[30分] 討論内容を復習し、自己の課題を明確化する	議論、発表	宮崎

### ■ 教科書

教科書は使用せず、教員が適宜、資料を配布する。

### ■ 参考書、参考資料等

宮崎正峰(2014年)「ペンギンの不思議」誠文堂新光社

### ■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーション、提出物のフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

### ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%)
2. 発表の内容(50%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

メールによる質問などを受け付ける(アドレスは授業内で知らせる)

### ■ その他

SBFS150

# 基礎ゼミⅡ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」変化 実務経験がある  
教員：－

○越後敬子

## ■ 授業の目的

テーマ：差別の問題を考える

世の中には様々な差別が存在している。それは人種・宗教・文化・身分・性別・能力の差など多岐にわたり、また病者に対する差別もその一つである。

かつて日本ではハンセン病患者差別の時代が長く続いた。この授業の前半では、ハンセン病患者で作家の北条民雄の作品『いのちの初夜』や彼の日記をもとに、差別の全容、そして今に続く患者の苦悩を知ること努めたい。

さらに授業の中盤以降では各自がテーマを設定し、世界及び日本に存在する差別の問題を考察する。

具体的なテーマをもとに差別の問題について考えることで、大学において学問を深めるために必要な基礎的能力の確認と、さらにゼミ形式における発表法について学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 日本におけるハンセン病患者差別の問題について深く知る。
2. 世界や日本に存在する様々な差別について調査し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、自分の考えを明確に伝える力を養う。

## ■ 学習の進め方

1. ハンセン病患者差別の問題については、教員が講義を行い、受講者には適宜意見を求める。
2. 1と並行して、各自がテーマを設定し、差別の問題について文献を調査する。
3. 自分の考えをまとめてプレゼンテーションする。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>イントロダクション</b> 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 初回授業で取り上げた「日本語」「表現」について各自で再度考える。	講義	越後
2	<b>ハンセン病患者差別について考える①</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
3	<b>ハンセン病患者差別について考える②</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
4	<b>ハンセン病患者差別について考える③</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
5	<b>ハンセン病患者差別について考える④</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・討論	越後
6	<b>ハンセン病患者差別について考える⑤</b> <b>差別の問題に関する文献調査①</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
7	<b>ハンセン病患者差別について考える⑥</b> <b>差別の問題に関する文献調査②</b> 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後

No	内容	形式	教員
8	ハンセン病患者差別について考える⑦ 差別の問題に関する文献調査③ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
9	ハンセン病患者差別について考える⑧ 差別の問題に関する文献調査④ 事前学修：[30分] 事前に配布された資料を読み、疑問点についてまとめる。 事後学修：[30分] 事前学修でまとめた疑問点が解決できたかを考える。また、各自の設定したテーマについて、調査を行う。	講義・討論・実習	越後
10	差別の問題に関する文献調査⑤ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
11	差別の問題に関する文献調査⑥ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
12	差別の問題に関する文献調査⑦ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	実習	越後
13	プレゼンテーション① 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
14	プレゼンテーション② 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後
15	プレゼンテーション③ 事前学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。 事後学修：[30分] 各自の設定したテーマについて、調査を行う。	発表・討論	越後

## ■ 教科書

プリントを配布する。

## ■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

## ■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、ガイダンス期間に成績通知表を配布する際に、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

## ■ 他の授業科目との関連

基礎ゼミ I の学習内容に基づき、より発展的な事項を扱う。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20%、口頭発表 40%、レポート 40%

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

## ■ その他

SBFS150



# 人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能 I では、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・化学の基礎知識、機能からみた人体、生体を構成する物質、細胞の構造と機能、解剖・組織学総論を学び、それらが説明できる。
- ・消化器系、消化と吸収、物質とエネルギー代謝、呼吸器系、について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

## ■ 学習の進め方

1. Glaxa にアクセスします。
2. 人体の構造と機能 I に入り、フォルダを開きます。
3. オンデマンド型：パワーポイント資料や動画を視聴します。同時双方向型：教員から配信される ID にアクセスし zoom,teams に授業時間 10 分前にアクセスする。
4. 授業受講後、提示された課題(授業感想の提出)に取り組みます。
5. 感想や課題の提出は授業日から提出期限内に行ってください。提出期限を過ぎた場合、課題を提出しても出席扱いにならないことがありますので、注意してください。
6. 教員は、課題提出を確認し、Glaxa 上でコメントを返したり、解答解説などのフィードバックを行います。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
2	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
3	自宅学習課題 Glaxa に Word 形式で提出	自宅学習	白井
4	解剖生理学の基礎/栄養の消化と吸収(1) 事後学修：[30 分] 教科書を読み、ノートまたは Word にまとめる。	同時双方向型	白井
5	栄養の消化と吸収(2) 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。	オンデマンド型	白井
6	栄養の消化と吸収(3) 事前学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。	同時双方向型	白井
7	栄養の消化と吸収(4) 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。	オンデマンド型	白井
8	呼吸と血液のはたらき(1) 事前学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
9	呼吸と血液のはたらき(2) 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
10	呼吸と血液のはたらき(3) 事前学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
11	呼吸と血液のはたらき(4) 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
12	血液の循環と調節(1) 事後学修：[30 分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井

No	内容	形式	教員
13	<b>血液の循環と調節(2)</b> 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
14	<b>血液の循環と調節(3)</b> 事前学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
15	<b>血液の循環と調節(4)</b> 事前学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井

### ■ 教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院

### ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

### ■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20% 課題 20% 定期試験 60%

### ■ オフィスアワー・研究室等

休日を除く平日 17時まで Glexa メールで対応します。

### ■ その他

SBHS100

# 人体の構造と機能Ⅱ(解剖生理学・生化学②)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅰでは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくよう意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

- ・化学の基礎知識、機能からみた人体、生体を構成する物質、細胞の構造と機能、解剖・組織学総論を学び、それらが説明できる。
- ・消化器系、消化と吸収、物質とエネルギー代謝、呼吸器系、について身体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解し、説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、異常となるメカニズムを推測できる能力を身に着ける。

## ■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 人体の構造と機能Ⅱに入り、フォルダを開きます。
3. オンデマンド型：パワーポイント資料や動画を視聴します。同時双方向型：教員から配信される ID にアクセスし zoom, teams に授業時間 10 分前にアクセスする。
4. 授業受講後、提示された課題(授業感想の提出)に取り組みます。
5. 感想や課題の提出は授業日から提出期限内に行ってください。提出期限を過ぎた場合、課題を提出しても出席扱いにならないことがありますので、注意してください。
6. 教員は、課題提出を確認し、Glexa 上でコメントを返したり、解答解説などのフィードバックを行います。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	体液の調節と尿の生成(1) 事前学修：[30分] 教科書第5章を読む 事後学修：[30分] 映像教材を見てノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
2	体液の調節と尿の生成(2) 事前学修：[30分] 教科書第5章を読む 事後学修：[30分] 映像教材を見てノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
3	体液の調節と尿の生成(2)・内臓の機能の調節(1) 事前学修：[30分] 教科書第5・6章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
4	内臓の機能の調節(2) 事前学修：[30分] 教科書第6章を読む 事後学修：[30分] 教科書を読み、ノートまたは Word にまとめる。	オンデマンド型	白井
5	内臓の機能の調節(3) 事前学修：[30分] 教科書第6章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。	オンデマンド型	白井
6	身体の支持と運動(1) 事前学修：[30分] 教科書第7章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
7	身体の支持と運動(2) 事前学修：[30分] 教科書第7章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる。	オンデマンド型	白井
8	身体の支持と運動(3) 事前学修：[30分] 教科書第7章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
9	身体の支持と運動(4) 事前学修：[30分] 教科書第7章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井

No	内容	形式	教員
10	<b>身体の支持と運動(5)</b> 事前学修：[30分] 教科書第7章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
11	<b>情報の受容と処理(1)</b> 事前学修：[30分] 教科書第8章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
12	<b>情報の受容と処理(2)</b> 事前学修：[30分] 教科書第8章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井
13	<b>情報の受容と処理(3)・身体機能の防御と適応(1)</b> 事前学修：[30分] 教科書第8・9章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
14	<b>生殖・発生と老化のしくみ(1)</b> 事前学修：[30分] 教科書第10章を読む 事後学修：[30分] 授業を受けてポイントをノートまたは Word にまとめる	同時双方向型	白井
15	<b>身体機能の防御と適応(2)・生殖・発生と老化のしくみ(2)</b> 事前学修：[30分] 教科書第9・10章を読む 事後学修：[30分] 映像教材をみてノートまたは Word にまとめる	オンデマンド型	白井

### ■ 教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院

### ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。

### ■ フィードバックの仕方

課題の提出を確認し、Glexa ページでコメントを返したり、フィードバックを行います。

### ■ 他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっていますが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できます。なお、本科目は「看護援助論実習 [レベルⅠ]」の履修要件となっています。

### ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20% 課題 20% 定期試験 60%

### ■ オフィスアワー・研究室等

休日を除く平日 17時まで Glexa メールで対応します。

### ■ その他

SBHS101

# 人体の構造と機能Ⅲ(解剖生理学・生化学③および微生物学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○白井美穂

## ■ 授業の目的

人体の構造と機能Ⅲは、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

## ■ 到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の性質と機能について説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

## ■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本としますが、適宜、自習ノート作成、演習、小テストを行います。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進めていきます。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入します。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>糖の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書の第3.4章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
2	<b>脂質の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書の第5.6章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
3	<b>タンパク質の性質と機能</b> 事前学修：[30分] 教科書の第5.6章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回の小テスト対策としてテスト範囲の配布プリントの見直しを行う。	講義	白井
4	<b>小テスト解説・遺伝情報とその発現</b> 事前学修：[30分] 教科書の第10.11章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：糖・脂質・たんぱく質の性質と特徴について)・演習(糖、脂質、たんぱく質の性質と特徴の内容からテーマを決めてペアワークを行う)	白井
5	<b>代謝の基礎と酵素・補酵素</b> 事前学修：[30分] 教科書の第2章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
6	<b>生体を構成する物質とその代謝についてのまとめ</b> 事前学修：[30分] 教科書(生化学 人体の構造と機能②)の講義内容を振り返る。 事後学修：[30分] 授業の内容を振り返り、疑問点をノートに記入する。	講義	白井
7	<b>細菌・真菌の性質</b> 事前学修：[30分] 教科書の第1.2章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
8	<b>原虫・ウイルスの性質</b> 事前学修：[30分] 教科書の第4.5章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。小テスト対策として授業で配布した資料の見直しを行う。	講義	白井

No	内容	形式	教員
9	<b>小テスト解説・感染と感染症</b> 事前学修：[30分] 教科書の第6章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質) 演習(細菌・真菌・原虫・ウイルスの性質についてテーマを決めてペアワークを行う)	白井
10	<b>感染に対する生体防御の仕組み</b> 事前学修：[30分] 教科書の第7章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
11	<b>感染源・感染経路からみた感染症</b> 事前学修：[30分] 教科書の第8章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。次回のテストの対策として資料の見直しを行う。	講義	白井
12	<b>小テスト解説・滅菌と消毒</b> 事前学修：[30分] 教科書の第9章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義・小テスト (内容：感染に対する生体防御の仕組み、感染源、感染経路からみた感染症)・演習(内容：感染源・感染経路からみた感染症の内容の中からテーマを決め、ペアワークを行う)	白井
13	<b>感染症の治療</b> 事前学修：[30分] 教科書の第11章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井
14	<b>感染症の現状と対策・院内感染</b> 事前学修：[30分] 教科書の第12章を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。定期試験の準備を行う。	講義	白井
15	<b>微生物学の基礎についてのまとめ</b> 事前学修：[30分] 教科書(微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進④)の講義内容を振り返る。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井

## ■ 教科書

- 代謝・生化学：系統看護学講座「人体の構造と機能(2)生化学」三輪一智、中恵一(著)(医学書院)
- 生体防御・感染：系統看護学講座「疾病の成り立ちと回復の促進(4)微生物学」南嶋洋一、他4名(著)(医学書院)

## ■ 参考書、参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。また、参考資料のプリントを配布します。

## ■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に授業にて解説資料の提示および解説を行う。小テストのフィードバックは授業内で行う。

## ■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、小テスト(10%)、演習(10%)定期試験(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

①曜日：火、金②時間帯：授業後および担当教員の授業時間外(事前にアポイントを取ることが望ましい)③ 426 白井研究室

■ その他

SBHS150

# 疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
 教員：－

○白井美穂、安達章子、笹島圭太、高橋正憲、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子

## ■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進 I, II, III」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異常や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、理論的に理解し、疾病からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とします。

## ■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

## ■ 学習の進め方

- ・ 授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えてください。
- ・ 各授業時にリフレクションペーパーの記入をしてもらうことで、疑問点や改善点などをクリアにしていく。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション</b> 事前学修：[60分] 解剖生理学 I, II のプリントとノートを振り返る。 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、疑問点を調べ、ノートに記入する。	講義	白井美穂
2	<b>病理学総論①「病理学とは何か、病気の分類について」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第1章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
3	<b>病理学総論②「循環障害」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第3章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。		安達章子
4	<b>病理学総論③「炎症と免疫、感染症」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第4.5章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
5	<b>理学総論④「代謝異常、先天異常」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第6.8章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
6	<b>病理学総論⑤「腫瘍」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門基礎「病理学」第9章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	安達章子
7	<b>内分泌・代謝疾患①「視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門 II 「内分泌・代謝」第5章 A:1 ①②③を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
8	<b>内分泌・代謝疾患②「副甲状腺疾患、副腎疾患」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門 II 「内分泌・代謝」第5章 A:④⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子



No	内容	形式	教員
9	<b>内分泌・代謝疾患③「糖尿病①」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する(9.10 回目の授業)。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
10	<b>内分泌・代謝疾患④「糖尿病②」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」第5章 B:①～⑧を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する(9.10 回目の授業)。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	多羅尾朋子
11	<b>消化器疾患内科①「上部消化管:食道、胃、十二指腸疾患の検査、診断、治療」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	高橋正憲
12	<b>消化器疾患内科②「下部消化管:腸および腸膜疾患の検査、診断、治療」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	笹島圭太
13	<b>消化器疾患内科③「肝胆膵:肝臓・胆嚢疾患、膵臓疾患検査、診断、治療」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第4章 A,B,5章 D,E を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	甲嶋洋平
14	<b>消化器疾患外科①「上部・下部消化管の外科的治療」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」第5章 A,B,C および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第3章 A,B,C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一
15	<b>消化器疾患外科②「肝臓、胆道、膵臓の外科的治療」</b> 事前学修：[60分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」4章 A,B,5章 D,E および系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論第5章 D～G を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 予習ノートと授業内容とを併せて振り返る。	講義	中村純一

## ■教科書

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病の成り立ちと回復の促進① 医学書院
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤ 医学書院
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「内分泌・代謝」成人看護学⑥ 医学書院
- ・系統看護学講座・別巻 臨床外科看護各論 医学書院

## ■参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 医学書院

## ■フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験終了後 3 週間以内に解説資料の提示および解説を行う。

## ■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。また、「看護援助論実習レベルⅡ」の履修要件となっています。

## ■成績評価の仕方

リフレクションペーパー(20%)および定期試験(80%)を総合して評価します。

## ■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

## ■その他

SBHS151

# 看護学概論 I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○岡田彩子

## ■ 授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探究し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

## ■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

## ■ 学習の進め方

遠隔授業による修正があります。

1. 講義 Teams にて 双方向 型の Web 授業を行う

オンデマンド：グレクサに提示した資料を読み、Board や Forum を使って意見交換を行う。終了後に確認課題を行う

2. グループワーク:提示したテーマに関して双方向の授業中もしくはグレクサ内で意見交換を行う。

3. 授業内容の振り返り：授業終了時に提示される振り返り用紙に記入し、グレクサ内の指定の箇所に 締め切りまでに提出する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「看護」と「看護師」について① ・「看護」と「看護師」について、現時点のご自身のイメージや思いを A4 用紙半ページ程度にまとめてください。 ・「Nurse」の動詞としての意味、名詞としての意味を調べて下さい。	[自己学修]	岡田
2	「看護」と「看護師」について② ・ナイチンゲールによる看護の概念、ヘンダーソンによる看護の定義読んで、①で調べた「Nurse」の意味とあわせて、あなたの考える「看護することとは」、「看護師の役割」を A4 用紙 1 ページ程度にまとめて下さい。 ・これからどのような看護師になりたいか、看護師としてどのようなことをやってみたいか、あなたの思いを自由に記述して下さい。	[自己学修]	岡田
3	看護の歴史・看護の変遷、職業としての発展(看護職の職業的発展)、看護職の養成と修業状況 事後学修：[30分] グレクサ内の 確認課題に取り組む。	[オンデマンド]	岡田
4	「看護」、看護とその主要概念(健康、環境、人間、看護)と看護学の学問的発展(看護理論の成り立ち含む) 事前学修：[50分] 教科書の第 1 章のうち 2 26 頁 および第 2 章を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す	[講義・双方向]	岡田
5	看護理論① 看護理論の成り立ちと機能 F. ナイチンゲール、V. ヘンダーソン、A. ウィデンバック 事前学修：[30分] A. ウィデンバックの資料を読み A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[40分] プロセスレコードを作成する(成績評価 3 参照)	[講義・双方向]	岡田
6	看護理論② 人間関係論、相互作用論(トラベルビー)システム理論、ケアリング 事後学修：[30分] グレクサ内の 確認課題に取り組む。	[オンデマンド]	岡田
7	保健医療福祉システムと多職種連携 看護サービス提供の仕組みと看護サービスの管理・評価 事前学修：[30分] 教科書の第 6 章のうち 249-274 頁読みを読み、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30分] 資料を読み返す	[講義・双方向]	岡田
8	看護における倫理・法 事後学修：[30分] グレクサ内の課題に取り組む	[オンデマンド]	岡田

## ■教科書

茂野香おる他、(2020年). 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学①, 看護学概論(第17版). 医学書院

## ■参考書、参考資料等

グレクサ内に提示する

## ■フィードバックの仕方

### 1. フィードバックの仕方

グレクサに投稿された学生の感想・質問は、内容別に整理して、次回講義時にグレクサ内に提示します。

2. 課題のフィードバックは提出後3週間以内に、コメントを伏して返却します。

## ■他の授業科目との関連

レベルI実習の履修要件になっている。1年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論など、これから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

## ■成績評価の仕方

### 1. 授業への取り組み 50%

① 在宅学修課題提出(10%): 提出期限を過ぎた場合、減点があります

② Board や Forum 書き込み(20%)

③ 確認課題(20%)

2. 振り返り用紙 20%

3. プロセスレコード 10%

4. 最終レポート 20%(提出期限厳守)

## ■オフィスアワー・研究室等

事前にアポイントメントをとってください。a-okada@redcross.ac.jp に連絡をして下さい。

岡田研究室は、大宮キャンパス(410)です。

## ■受講上の注意事項

双方向(Teams)の授業においては、開始から30分までの入室は遅刻と認めますが、それ以降の入室は欠席となりますので注意してください。(遅刻3回は欠席1回です)。Teamsに入室できない場合は、授業開始時に担当者に【gairon2020@redcross.ac.jp】その旨を連絡してください。

## ■その他

SNIN100

# 看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある  
教員：－

○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘子、遠藤公久

## ■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。

演習の主な内容は、グループワークとロールプレイです。

学生を全 8 グループに分け、8 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。その他の演習として、映画鑑賞、ロールプレイに基づく話し合いなどを予定しています。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』平木典子著(金子書房)「はじめに-自分とつき合うには」から「第 1 章 自分とは何者だろう」(22 ページまで)をよく読んで下さい。まず、p.9-p.11 にある【20 の「私」で探る「私は誰か?」】に沿って、実際の「私」自身のことを、率直に書き出してみましよう。	在宅学修課題 1	小宮・松本
2	『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』平木典子著(金子書房)「はじめに-自分とつき合うには」から「第 1 章 自分とは何者だろう」(22 ページまで)をよく読んで下さい。p.12 の①～⑤の 5 つの側面から、書き出した 20 の文章を見直し、感じたこと考えたことを自由に書いて下さい。	在宅学修課題 2	小宮・松本
3	『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』平木典子著(金子書房)「はじめに-自分とつき合うには」から「第 1 章 自分とは何者だろう」(22 ページまで)をよく読んで下さい。16 ページから 22 ページの「自己評価のクセに気づく」「ありのままの自分を知り、その自分を大切にする」に記述されている通り、「自分を知る」ためには、「自己評価」だけでは限界があります。「ありのままの自分を大切にする」ために、あなた自身がこれから取り組んでみたいこと、やってみたいことなどを自由に記述して下さい。	在宅学修課題 3	小宮・松本
4	援助的人間関係の基本的な考え方 事前学修：[10 分] シラバスを読んで授業に臨む。 事後学修：[30 分] 講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	遠隔(講義)	松本
5	気質やパーソナリティ類型を用いた自己理解の方法 事前学修：[15 分] 事前に Glexa にアップしてある資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 講義内容について資料を読み返す。	遠隔(講義・演習)	松本
6	感性を磨く技法-異和感の対自化- 事前学修：[15 分] 事前に Glexa にアップしている資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 異和感を覚えた場面について振り返って、指定の用紙にまとめる。	遠隔(講義・演習)	小宮
7	映画観賞とグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前に Glexa にアップしている資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	遠隔(演習)	小宮・松本
8	映画観賞とグループワーク② 事前学修：[15 分] 事前に Glexa にアップしている資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	遠隔(演習)	小宮・松本
9	援助的人間関係における自己一致 事前学修：[15 分] 事前に Glexa にアップしている資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容について資料を読み返す。	遠隔(講義)	松本

No	内容	形式	教員
10	「きく-はなす」のロールプレイ 事前学修：[15分] 事前に Glexa にアップしている資料を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	遠隔(講義・演習)	松本
11	小グループに分かれてのグループワーク① 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
12	小グループに分かれてのグループワーク② 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
13	小グループに分かれてのグループワーク③ 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
14	小グループに分かれてのグループワーク④ 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	全教員
15	グループワークのまとめ・レポートの書き方 事前学修：[15分] グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] グループワークを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	遠隔(講義・振り返り)	松本

## ■教科書

授業資料は Glexa にアップします。

## ■参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法, 医学書院.

平木典子(2000). 自己カウンセリングとアサーションのすすめ, 金子書房.

## ■フィードバックの仕方

Glexa への課題の提出を確認し、Glexa メールでコメントを返したり、次回以降の授業でフィードバックします。最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートを通じて行います。返却については、Glexa で連絡します。

## ■他の授業科目との関連

看護援助論実習 [レベル I] を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

## ■成績評価の仕方

演習への取り組み(50%)とレポート(50%)に基づいて評価します。なお、レポートは、演習に参加しての感想文(20%)と最終レポート(30%)で評価します。

## ■オフィスアワー・研究室等

質問などは、Glexa に提出する「リアクションペーパー」あるいは、Glexa メールでお知らせください。

## ■受講上の注意事項

演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。

## ■その他

SNFN100

# 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

## ■ 到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面はDVD視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>フィジカルアセスメント概論と基本技術</b> 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
2	<b>面接技法と基本技術</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	<b>一般状態と生命の徴候 1 体温・呼吸・意識</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
4	<b>体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	<b>一般状態と生命の徴候 2 脈拍・血圧</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
6	<b>脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	<b>食ること・栄養を取り込むこと</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村

No	内容	形式	教員
8	<b>食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	<b>排泄すること・セクシュアリティ</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
10	<b>排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	<b>身体を動かすこと</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
12	<b>身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	<b>技術の習得について確認を行う</b> 事前学修：[60分] 技術試験のポイントを見直しながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術試験の結果を振り返り改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
14	<b>技術の習得について確認を行う</b> 事前学修：[60分] 技術試験のポイントを見直しながら、技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術試験の結果を振り返り改善点を見出す	技術チェック・ 振り返り	全員
15	<b>まとめ</b> 事前学修：[30分] 知識の確認問題に取り組む 事後学修：[60分] ①技術を洗練させるために反復練習を行う②知識の確認問題の解答を見直す	講義	中村

## ■ 教科書

- 守田美奈子監修(2020)新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.

## ■ 参考書、参考資料等

- 藤崎郁(2017). フィジカルアセスメント完全ガイド. 第3版. 学習研究社.
- Steve parker(2009). みえる人体ー構造・機能・病態. 南江堂.

\*資料は適宜配布

## ■ フィードバックの仕方

- ①事前課題は授業中に活用する。
- ②提出された演習記録に必要時コメントし、次回授業時に振り返りを行い全体で共有する。
- ③技術チェックの結果は、終了後の授業内に返却し個別指導につなげる。
- ④筆記試験の結果は、この単元のシリーズである看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)の初回授業で振り返りを行う。

## ■ 他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっている。
- 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学ぶ。

## ■ 成績評価の仕方

演習記録 10% 技術チェック 30% 筆記試験 60%

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(第1実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定する(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は1回目の授業時間内に提示する。

研究室：中村(424)、殿城(425)、酒井(431)、篠原(430)、原(429)、中島(430)

## ■ 受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

■ その他  
SNFN150



# 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

### 1. 受講前

#### ①事前課題

原則、各授業の1週間前に Glexa に公開します。

授業内で使用しますので、取り組んで授業に臨んでください。提出の必要はありません。

#### ②演習記録

各授業の2日前に公開します。

印刷しておくのと、受講中にメモができます。印刷が難しい方は、メモをご用意ください。

対面授業の場合は、授業時に配布します。

#### ③教科書・資料

指定の教科書を使用します。

追加の授業資料がある場合、授業の前日までに公開します。対面授業の場合は、授業時に配布します。

### 2. 授業の展開

①時間割の日時に Teams / Zoom から授業、または、実習室に入室します。

#### ②前回の振り返り

前回の講義・演習内容について、学生の意見・感想・質問などを中心に振り返りを行います。

#### ③講義・デモンストレーション

その日に取り上げる技術を実践するために必要な知識を確認します。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや DVD 視聴で示します。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは、演習記録に記載したり、意見交換を行うことで理解を深めます。

#### ④演習

その日に取り上げる技術を実践します。遠隔で行う場合は、自宅で可能な演習方法を提示します。または、学内で演習をしている学生の様子を見て学びます。演習後は Glexa で体験を共有します。

### 3. 受講後

以下の課題に取り組みます。

授業の1週間後の9:00まで(月曜クラス：翌月曜日、金曜クラス：翌金曜日、火曜クラス：翌火曜日)を提出締切とします。

\*それぞれ、以下の曜日の朝9:00までに提出していただくと次回授業でフィードバックできます。

月曜クラス：金曜日 金曜クラス：木曜日、火曜クラス：月曜日

\*対面授業の場合は、提出日を変更することがあります。

#### ①演習記録

ダウンロードした演習記録に記載し、デモンストレーションから学んだことを振り返ります。

Glexa の Report に word ファイルで提出してください。

#### ② Forum・Board・Quiz・Report など

体験の共有や意見交換、知識の確認をします。Glexa に指定された方法で記入・回答・提出してください。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>看護技術概論</b> 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義	殿城

No	内容	形式	教員
2	<b>感染予防に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	中村
3	<b>感染予防に関する援助技術① &lt;技術演習：手洗い、ガウンテクニック&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
4	<b>環境調整に関する援助技術</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	殿城
5	<b>環境調整に関する援助技術 &lt;技術演習：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
6	<b>休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	殿城
7	<b>休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① &lt;技術演習：ボディメカニクス・体位変換&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
8	<b>活動・運動に関する援助技術②</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	殿城
9	<b>活動・運動に関する援助技術② &lt;技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
10	<b>食事・口腔ケアに関する援助技術</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	中村
11	<b>食事・口腔ケアに関する援助技術 &lt;技術演習：食事介助・口腔ケア&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
12	<b>排泄に関する援助技術①</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	同時双方向 講義・演習	中村
13	<b>排泄に関する援助技術① &lt;技術演習：一般的な排泄の援助&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	同時双方向 演習	全員
14	<b>前期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	集中講義 講義・演習	殿城
15	<b>前期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVDを視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	集中講義 演習	全員

## ■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 志自岐康子他編 (2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

## ■ 参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修 (2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

\*資料は適宜配布

## ■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して Glexa に提示します。
3. Glexa に投稿・提出された学生の意見・感想・質問は、次回授業時に振り返りを行い、共有します。
4. 実技試験のフィードバックは、試験終了後に採点者が行います。
5. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行います。実技試験の採点表も同日に返却します。

## ■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

## ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50%(提出期限を過ぎると減点があります)
  - ①演習記録の提出 20%
  - ② Forum・Board などへの書き込み 20%
  - ③確認テスト(Quiz) 10%
2. 筆記試験 20%
3. 実技試験 30%

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：質問は Glexa に投稿してください。

技術オフィスアワー：集中講義期間に実施します(遠隔授業を補い、技術の練習や質問など自由に行うことができます)。遠隔の場合は、オンラインで、技術の確認や質問に個別に応じます。

研究室：殿城(425 研究室)、中村(424 研究室)、酒井・山本(431 研究室)、篠原・中島(430 研究室)、川端・原(429 研究室)、竹山(414 研究室)

## ■ 受講上の注意事項

- ・遠隔授業時は、Teams / Zoom での確認、課題の提出をもって出席とみなします。
- ・2回目以降の講義・演習は、動きやすい服装で臨んでください。
- ・資料を参照し、身だしなみを整えてください。
- ・授業内の意見交換には積極的に参加し、考えや感想を表現してください。

## ■ その他

SNFN101

# 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

## ■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや DVD 視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習ノートを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
3	清潔の援助① <技術演習：寝衣交換> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
5	清潔の援助② <技術演習：部分浴(洗髪・手浴・足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
7	清潔の援助③ <技術演習：全身清拭> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	感染予防に関する援助技術② 滅菌・消毒・無菌操作 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城

No	内容	形式	教員
9	<b>感染予防に関する援助技術② &lt;技術演習：無菌操作&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	講義および演習	全員
10	<b>排泄に関する援助技術② 導尿</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
11	<b>排泄に関する援助技術② &lt;技術演習：導尿&gt;</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	<b>清潔の援助④ &lt;技術演習：陰部洗浄&gt;</b> <b>電法、ヒヤリハット</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
13	<b>清潔の援助④ &lt;技術演習：陰部洗浄&gt;</b> <b>電法、ヒヤリハット</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	<b>後期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 振り返り課題に取り組む	講義および演習	殿城
15	<b>後期技術総合演習</b> 事前学修：[30分] テキストを読み、DVD を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

## ■ 教科書

- 吉田みづ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
- 志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

## ■ 参考書、参考資料等

- 川嶋みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

\*資料は適宜配布

## ■ フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用する。
- 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
- 演習記録に記載された内容について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
- 実技試験のフィードバックは、試験終了時に採点者が行う。
- 筆記試験のフィードバックは、関連する2年次前期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)の第1回目の授業にて、問題用紙の返却と解説を通じて行う。実技試験の採点表も同日に返却する。

## ■ 他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。
- 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

## ■ 成績評価の仕方

演習記録 10% 技術チェック 30% 筆記試験 60%

## ■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後30分(第1実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は1回目の授業時間内に提示する。

研究室：殿城(425)、中村(424)、酒井(431)、原(429)、篠原・中島(430)

## ■ 受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

■ その他  
SNFN151

# 看護援助論Ⅱ(生命の維持)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある  
教員：－

○仁昌寺貴子

## ■ 授業の目的

人がどのようにして生きているのか、生命維持の仕組みを理解する。その上で生命を脅かす呼吸、循環、中枢機能不全状態とその関連性を理解し、生命維持に必要な看護援助の理論と方法を学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 呼吸、循環、中枢機能と生命維持との関連を理解する。
2. 呼吸機能、循環機能、中枢神経系の機能の不全もしくは障害により生じる生命危機状況を理解する。
3. 生命危機を回避すると同時に、生命を維持するために必要な基本的な看護援助に関する理論と方法を学ぶ。

## ■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学習に必要な基礎知識を復習・整理しておく。第3・6回の事前学修課題は授業前日までに LMS 上で提出する。
2. 必要時には、授業日前に LMS を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション 呼吸と循環のメカニズムとつながり/生命維持の仕組み</b> 事前学修：[20分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの呼吸器系と循環器系の部分を復習し、主な機能についてまとめる。 事後学修：[15分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	<b>呼吸機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療</b> 事前学修：[20分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの呼吸器系について復習し、機能低下時の症状をまとめる。 事後学修：[15分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる。	講義	仁昌寺
3	<b>呼吸機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点</b> 事前学修：[20分] LMS 上に提示する資料を読み、呼吸機能に障害をもつ人の体験をまとめ LMS 上で授業前日までに提出する。 事後学修：[15分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	<b>呼吸機能に障害をもつ人への看護</b> 事前学修：[20分] 第2・3回の講義を振り返り、呼吸機能に障害をもつ人へどのような援助ができそうか検討しまとめる。 事後学修：[15分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
5	<b>循環機能の障害により生じる症状・観察・検査・治療</b> 事前学修：[20分] 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの循環器系について復習し、機能低下時の症状をまとめる。 事後学修：[15分] 講義で配布した資料を読み返し、ポイントをまとめる。	講義	仁昌寺
6	<b>循環機能に障害をもつ人の生命および生活への影響と援助の視点</b> 事前学修：[20分] LMS 上に提示する資料を読み、循環機能に障害をもつ人の体験をまとめ LMS 上で授業前日までに提出する。 事後学修：[15分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
7	<b>循環機能に障害をもつ人への看護</b> 事前学修：[20分] 第5・6回の講義を振り返り、循環機能に障害をもつ人へどのような援助ができそうか検討しまとめる。 事後学修：[15分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺
8	<b>まとめ 生命を維持するために必要な看護援助</b> 事前学修：[30分] 第1～7回までの講義資料を読み返しまとめる。 事後学修：[15分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをまとめる。	講義 ディスカッション	仁昌寺

## ■ 教科書

特に指定しない

## ■ 参考書、参考資料等

佐伯由香・田中美智子編(2017). ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護① 呼吸機能障害/循環機能障害. メディカ出版.  
人体の機能と構造 I・II・III で用いた教科書を使用する。

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

## ■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題を返却し、採点基準の解説は LMS 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

## ■ 他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能 I・II・III に基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 疾患の成り立ちと回復の促進 II、看護援助論 I、看護技術論 II (フィジカルアセスメント①)、看護技術論 II (フィジカルアセスメント②)に関連する。
3. 2 年次の看護援助論実習 [レベル II] の履修要件となっている。

## ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

## ■ オフィスアワー・研究室等

授業開講翌日の 12:20~12:50 仁昌寺(423 研究室)

## ■ その他

SNCN150



# 看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある  
教員：－

○喜多里己

## ■ 授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

## ■ 到達目標

- ①さまざまな年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
- ②清潔が脅かされるとき生活への影響を説明できる。
- ③感染症の特徴とその対応を説明できる。
- ④感染症が生活に与える影響と感染防御の必要性及びその方法について説明できる。
- ⑤感染症のある人、易感染状態にある人への看護援助の目標と方法を説明することができる。

## ■ 学習の進め方

### 1. 授業の展開

- ・事前学習課題を授業の1週間ほど前に Glexa で提示します。
- ・Glexa に提示した学習資料を読み、Boad や Forum を使って意見交換を行きましょう。最後に確認テストを実施してください。
- ・授業後：今回の授業に関する質問・感想を「リアクションシート」として Report に提出してください。

### 2. 参考資料の提示

適宜、Glexa に提示します。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	在宅学修課題 1. 高等学校授業「生物基礎」の教科書や参考書を用いて、下記のキーワードについて調べ、まとめてください。① 生体防御と免疫、② 自然免疫と適応免疫(獲得免疫) Glexa に提出 事前学修：[15分] 事前に配付された課題に取り組む 事後学修：[15分] 自分の作成したレポートを読み直す	自宅学修	喜多
2	在宅学修課題 2. あなたは、自分が今までにかかったことのある感染症と、これまで受けたことのある予防接種を知っていますか？ 母子健康手帳などを参考に調べてください。そして下記の疾患について、あなたが自然免疫と適応免疫のどちらを持っているか、または持っていないかをまとめてください。① 風疹、② 麻疹、③ 流行性耳下腺炎、④ 水痘、⑤ B 型肝炎、⑥ 天然痘、⑦ 日本脳炎、⑧ 結核、⑨ 新型コロナウイルス感染症、⑩ その他の感染症 Glexa に提出 事前学修：[20分] 事前に配布された課題に取り組む 事後学修：[10分] 自分の作成したレポートを読み直す	自宅学修	喜多
3	感染防御に必要な身体のしくみ(在宅学修課題の振り返り) 感染防御の成り立ち 事前学修：[20分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[10分] Glexa に「リアクションシート」を提出する	オンデマンド型	喜多
4	生活の中で「清潔」ということの意味 事前学修：[20分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[10分] Glexa に「リアクションシート」を提出する	オンデマンド型	喜多
5	「清潔」と「感染防御」とは？ 事前学修：[20分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[10分] Glexa に「リアクションシート」を提出する	オンデマンド型	喜多
6	感染症の特徴とその対応 事前学修：[20分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[10分] Glexa に「リアクションシート」を提出する	オンデマンド型	喜多
7	感染防御の必要性と方法 事前学修：[20分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[10分] Glexa に「リアクションシート」を提出する	オンデマンド型	喜多

No	内容	形式	教員
8	<b>感染症が人々の生活や社会に与える影響・まとめ</b> 事前学修：[20分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み Glaxa の「フォーラム」に感想・意見を記入する 事後学修：[10分] Glaxa に「チャット」に感想・意見・質問を記入する	オンデマンド型	喜多

## ■教科書

なし

## ■参考書、参考資料等

- ・看護技術論Ⅲ①の教科書「ナースィング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術」および「新訂版写真でわかる基礎看護技術アドバンス」を参考にします。
- ・シラバスに提示した「看護学実習における感染防御対策 日本赤十字看護大学」は、現在、改訂を行っています。実習前に配布の予定です。

## ■フィードバックの仕方

1. Glaxa に投稿された学生の感想・質問は、内容別に整理して、次回 Glaxa に提示します。
2. 確認テストは、次回の Glaxa に解説を提示します。

## ■他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能」「看護技術論」に関連する。また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年後期の看護援助論実習〔レベル I〕の履修要件である。

## ■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 50%
  - ・在宅学修課題の提出 10 % (提出期限を過ぎたら減点があります)
  - ・ Board や Forum などへの書き込み 20 %
  - ・ 確認テスト 20 %
2. リアクションシート 20 % (授業ごとに Glaxa に提出された質問・感想)
3. 最終レポート 30% (提出期限を過ぎたら減点があります)

## ■オフィスアワー・研究室等

- ・質問は授業ごとの「リアクションペーパー」に記入して Glaxa に提出してください。
- ・研究室は大宮キャンパス 4 階 407 です。

## ■受講上の注意事項

既習知識を確認しながら進めるため、予習・復習をして主体的に参加すること

## ■その他

SNCN100

# コミュニティ論Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」関係 「3」探求 実務経験がある教員：-

○鷹田佳典

## ■授業の目的

コミュニティとは、人がそこに何らかの帰属意識を持ち、メンバー間で連帯と相互扶助の関係が成り立っているような集団のことを指します。コミュニティはその成員に対し、承認やつながりの感覚、有形無形の支援を与えてくれるものであり、したがってケアと深く関わっています。本講義では、コミュニティについての基礎知識について学ぶとともに、伝統的な社会から近代社会を経て、現代に至る過程でコミュニティがどのような変遷を辿ってきたのかを確認します。そうすることで、現代社会を生きるわれわれにとって、コミュニティがどのような存在であるかについて考えることが本講義の目的です。

## ■到達目標

1. コミュニティとアソシエーションの違いについて説明できる。
2. 現代社会においてコミュニティが担っている役割を説明することができる。
3. コミュニティとケアの関係について説明することができる。

## ■学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回、授業の終わりにリアクションペーパーを配布し、コメントや質問を書いてもらう時間を設けます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

## ■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コミュニティという言葉でイメージするものは何か、またそれは、自分にとってどのような存在か、なるべく具体的に書く。 事前学修：なし 事後学修：なし	自宅学習	鷹田
2	新聞の「地域欄」のページに目を通し、興味を持った地域の活動(複数可)について、活動の概要と興味を持った理由等をまとめる。 事前学修：なし 事後学修：なし	講義	鷹田
3	コミュニティとは何か：コミュニティ論の基礎概念について学ぶ 事前学修：[30分] 会社と家族の違いをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
4	都市／地域社会とコミュニティ：都市とコミュニティの関係について学ぶ 事前学修：[30分] 都市と地方の違いをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
5	コミュニティと社会的ネットワーク：さまざまな「縁」という視点からコミュニティについて学ぶ 事前学修：[30分] われわれの社会にどのような縁(つながり)があるのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
6	コミュニティ活動の多様な担い手：コミュニティ活動がどのような主体によって担われているのかについて学ぶ 事前学修：[30分] 地域の活動がどのような主体によって担われているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
7	コミュニティと社会関係資本：コミュニティとソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の関わりについて学ぶ 事前学修：[30分] 他者とのつながりのメリット・デメリットをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田
8	現代社会におけるコミュニティ：現代社会におけるコミュニティの特性について学ぶ。 事前学修：[30分] 50年前の社会と比べ、現代社会はどのような点が大きく変化したのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	オンデマンド型	鷹田

## ■ 教科書

特定の教科書は使用しません。必要に応じて資料を配布します。

## ■ 参考書、参考資料等

参考文献は毎回授業時に紹介します。

## ■ フィードバックの仕方

レポートの講評は Glexa 上で行う。

## ■ 他の授業科目との関連

2 年次以降に開講されるコミュニケア関連科目の基礎的な学習になります。

## ■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、学期末レポート(60%)

## ■ オフィスアワー・研究室等

①月曜日、② 10：40～11：40、③ 427 研究室

## ■ その他

SNCC100

# コミュニティケア I (地域看護学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：-

○成木弘子、藤川あや

## ■ 授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした、地域における看護活動について、基本的かつ包括的に理解する。具体的には、地域における看護職の活動の場と役割、地域の社会資源、看護の継続の必要性や地域連携の重要性について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
2. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
3. 地域における看護職の看護ケアの対象と支援の特徴について理解できる。
4. 健康危機管理の重要性について理解できる。

## ■ 学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>社会の変化と健康課題</b> 事前学修：[15分] 社会保障の動向や居住地域の保健対策の状況について、新聞や区報で把握する。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
2	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念①</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
3	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念②</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
4	<b>地域看護・公衆衛生看護の理念・概念③</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
5	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性① 地域保健(国・県)</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
6	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性② 地域保健(市町村)</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
7	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性③ 職域保健</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
8	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の場と特性④ 学校保健</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
9	<b>地域看護・公衆衛生活動看護の場と特性④ 在宅療養</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
10	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法① 個人</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川
11	<b>地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法② 家族</b> 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	藤川

No	内容	形式	教員
12	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法③ 集団 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
13	地域看護・公衆衛生看護活動の対象と活動方法④ 地域集団(コミュニティ) 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
14	健康危機管理 事前学修：[15分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、授業中に紹介された書籍の該当ページを読む。	講義	成木
15	まとめ ディスカッション 事前学修：[15分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15分] ディスカッションでの学びをまとめる。	演習	成木

### ■ 教科書

適宜、紹介する。

### ■ 参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

### ■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

### ■ 他の授業科目との関連

2 年次以降で学習するコミュニケアⅡ～Ⅳなど地域関連科目及び看護学実習、保健師教育課程選択者の科目と関連する。

### ■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(20%)、2. 定期試験(80%)

### ■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 成木(404 研究室)、藤川(411 研究室)

### ■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

### ■ その他

SNCC150

# 災害看護論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 実務経験がある  
教員：－

○池田稔子

## ■ 授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

## ■ 到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字の果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

## ■ 学習の進め方

1. 授業の展開：全講義、オンデマンド形式で行う。
2. 映像シミュレーション：災害現場や被災者の状況、災害支援活動のイメージができるように適宜オンデマンド教材に取り入れる。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション・災害発生の現状・災害看護の歴史的発展と課題</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
2	<b>災害の定義・災害医療・災害サイクル</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
3	<b>我が国の災害医療対応の整備・災害対応に関わる様々な連携・災害に関連する法律やガイドライン</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
4	<b>災害看護とは・災害看護活動とは・災害と健康障害</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
5	<b>災害の3T(トリアージ・治療・搬送)、要援護者トリアージ</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
6	<b>災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 1-①急性期(主に被災病院)</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(提出要事後課題あり)	オンデマンド型	池田
7	<b>災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 1-②急性～亜急性期(主に避難所)</b> 事前学修：[15分] 提示した範囲の教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[15分] 授業の配付資料を読み返し、感想をまとめる(指定事後課題あり)	オンデマンド型	池田

No	内容	形式	教員
8	<b>災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 2 慢性期・復興期</b> 事前学修：[15分] 事前に提示した教科書を読み、疑問を書きだす(事前学習の内容提出が必要な際は事前に伝える) 事後学修：[60分] 本科目事後課題レポートを作成する(テーマは、文字数の規定は開講後に示す)	オンデマンド型	池田

### ■教科書

浦田喜久子編 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 第4版 医学書院(2019)

### ■参考書、参考資料等

なし

### ■フィードバックの仕方

課題レポートのフィードバックの詳細は、後日ポータルで連絡する。

### ■他の授業科目との関連

看護技術論Ⅰで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害救援に欠かせない基本的な知識を学習します。

### ■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 32% 2. 各回終了後小レポート 28% 3. 最終課題レポート 40%

### ■オフィスアワー・研究室等

随時、Glexa 及び電子メールで質問を受け付ける

### ■受講上の注意事項

毎回、前回の講義で生じた疑問や講義に対する意見があれば、随時授業回で個別、内容によってはクラス全体にフィードバックし、授業を展開します。1～7回の講義終了ごとに小レポートを作成していただきます。さらに、1～8回の講義全体を基に、最終課題レポートを提出していただきます。

### ■その他

SNVN100



# 災害看護活動論 I

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」コミュニティ貢献 「3」連携 実務経験がある教員：-

○根岸京子、織方愛

## ■ 授業の目的

1. 災害発生時における現場救護所の設営や運営に必要な組織的な運営、各役割について理解する。
2. シミュレーションや演習を通して、災害急性期の看護活動に必要とされる基本的な判断力、救護技術、心構えと態度、行動力を習得する。

## ■ 到達目標

1. 赤十字救護班の派遣体制の基本について理解する。
2. 災害現場を想定したシミュレーションを通して、状況の情報収集から必要な救護活動のアセスメントができる。
3. 避難所の運営に必要な知識・技術を習得することができる。
4. 上落合(中央区・大宮区)地区を知り災害ハザードに気づくことができる。
5. 災害急性期に果たす役割を理解することができる。

## ■ 学習の進め方

「AL」

1. プログラムはトリアージ、救護技術、図上訓練と段階的に参加型で進める。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	<b>オリエンテーション、目標設定のグループワーク</b> <b>災害図上訓練(DIG)①講義</b> 事前学修：[15分] 災害看護論I 授業資料に目を通し、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
2	<b>災害図上訓練(DIG)②地区探索：上落合地区</b> 事前学修：[15分] 上落合地区の地図に目を通して災害時に危険そうな場所を3か所以上考えてくる 事後学修：[15分] 地区探索を行い、発表資料を制作する。	講義・屋外演習	織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
3	<b>災害図上訓練(DIG)③発表</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義・演習	織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
4	<b>避難所運営ゲーム(HUG)</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
5	<b>避難所運営ゲーム(HUG)</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 避難所運営について看護学生の貢献できることを考え A4用紙1枚程度にまとめる	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
6	<b>赤十字救護技術演習①規律行動訓練</b> 事前学修：[15分] 日本赤十字社の救護に関する資料を読み、A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
7	<b>赤十字救護技術演習②通信手段：無線機の取り扱い</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4用紙1枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
8	<b>赤十字救護技術演習③自家発電機の取り扱い</b> 事前学修：[15分] 発表資料の作成準備を行う 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸

No	内容	形式	教員
9	<b>赤十字救護技術演習④担架の取り扱い</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
10	<b>赤十字救護技術演習⑤簡易ベッドの設営</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
11	<b>赤十字救護技術演習⑥医療救護所の設営等</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
12	<b>赤十字救護技術演習⑦総合演習：医療救護所開設シミュレーション</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
13	<b>赤十字救護技術演習⑧総合演習：医療救護所開設シミュレーション</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
14	<b>赤十字救護技術演習⑨総合演習：医療救護所開設シミュレーションの検証</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸
15	<b>赤十字救護技術演習⑩総合演習：振り返り・フィードバック</b> 事前学修：[15分] 事前配付資料を読み A4 用紙 1 枚程度にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す・救護技術演習の内容を復習する	講義・演習	日本赤十字社埼玉県支部・織方・赤井・橋爪・内木・野口・根岸

## ■教科書

各プログラムに必要な資料を作成し授業中に配布する。

## ■参考書、参考資料等

浦田喜久子他(2019). 系統看護学講座 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

## ■フィードバックの仕方

発表のフィードバックは、授業の中で行っていく。また、課題レポートのフィードバックの詳細は、後日ポータルで連絡する。

## ■他の授業科目との関連

1年前期の災害看護論で学んだ「災害急性期看護の基本」、2年次で学ぶ災害看護活動論Ⅱによる「被災者と救援者のこころのケア・健康生活支援」が、演習を通して災害急性期の傷病者の援助を学ぶ上で本活動論に関連している。

## ■成績評価の仕方

1. 課題レポート 50% 2. プレゼンテーション 40% 3. 小テスト 10%

## ■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 17:50~18:10 さいたまキャンパス または随時 織方(広尾キャンパス 554 研究室)

## ■受講上の注意事項

1. 災害にかかる知識の習得だけでなく、技術や心構え、行動化まで習得できるようなプログラム構成や企画を立案している。参加度、チームワーク、話し合いが重要となる。傷病者体験をすることで傷病者のこころの状態の理解にも努める。  
2.5コマ×3日間(2021年2月22・24・26日)の集中講義を予定している。特に救護技術訓練・DIG(地区探索)は屋外での演習となるため、体調管理・安全管理に十分留意すること。初回までに注意点を案内する。

## ■その他

SNVN150

# 看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある  
教員：○

○岡田彩子

## ■ 授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的なかかわりを通して、個々人の援助を必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助について学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ。
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

## ■ 学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を1～2名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。

## ■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2021年1月18日(月)～1月29日(金)

実習場所：さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、小川赤十字病院

実習時間：8時30分～16時00分

\*実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。

\*なお、レベルⅠ実習の一部として、2020年9月25日(金)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

## ■ 教科書

なし

## ■ 参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

## ■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う。
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う。

## ■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの学習が土台になる。

## ■ 成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接35点、学習体験発表10点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時々の課題を含む)・カンファレンスへの参加度35点、課題レポート20点 合計100点で評価する。

## ■ オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。 各施設責任者(各研究室)\*各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

## ■ 受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できないので、注意すること。

■ その他  
SNNP150

# 科目一覧

★赤十字概論★ (○角田敦彦) .....	1
★心理学概論★ (○遠藤公久) .....	3
★身体運動理論★ (○白井美穂) .....	5
★身体運動実技★ (○白井美穂) .....	7
★社会学概論★ (○鷹田佳典) .....	9
★日本国憲法★ (○志田陽子) .....	11
★数学★ (○川崎 洋平) .....	14
★生物学★ (○宮崎正峰) .....	16
★化学★ (○三好洋) .....	19
★情報学概論★ (○岡田彩子、吉田 みつ子、逸見 功) .....	21
★日本語の表現★ (○越後敬子) .....	23
★英語R W I★ (○川崎修一) .....	25
★英語R W I★ (○川崎修一) .....	27
★英語R W II★ (○遠藤花子) .....	29
★英語R W II★ (○遠藤花子) .....	31
★英語L S★ (○ニコルソン・チャールズ) .....	33
★英語L S★ (○キャサリン・タカスギ) .....	35
★中国語 I★ (○神谷智幸) .....	38
★中国語 II★ (○神谷智幸) .....	41
★韓国語 I★ (○高昌弘) .....	43
★韓国語 II★ (○高昌弘) .....	45
★基礎ゼミ I★ (○遠藤公久、他) .....	48
★基礎ゼミ II★ (○遠藤公久) .....	50
★基礎ゼミ II★ (○鷹田佳典) .....	52
★基礎ゼミ II★ (○白井美穂) .....	54
★基礎ゼミ II★ (○角田敦彦) .....	55
★基礎ゼミ II★ (○渋谷 真樹) .....	57
★基礎ゼミ II★ (○逸見功) .....	59
★基礎ゼミ II★ (○宮崎正峰) .....	61
★基礎ゼミ II★ (○越後敬子) .....	63
★人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)★ (○白井美穂) .....	65
★人体の構造と機能 II (解剖生理学・生化学②)★ (○白井美穂) .....	67
★人体の構造と機能 III (解剖生理学・生化学③および微生物学) ★ (○白井美穂) .....	69
★疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、疾病論：消化器、内分泌・代謝)★ (○白井美穂、安達章子、笹島圭太、高橋正 憲、甲嶋洋平、中村純一、多羅尾朋子) .....	72
★看護学概論 I★ (○岡田彩子) .....	74
★看護技術論 I (援助的人間関係)★ (○松本佳子、小宮敬子、岡田彩子、奥原秀盛、喜多里己、吉野純、太田喜久子、成木弘 子、遠藤公久) .....	76
★看護技術論 II (フィジカルアセスメント①)★ (○中村滋子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美 穂、川端龍人) .....	78
★看護技術論 III (基礎看護技術①)★ (○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美 穂、川端龍人) .....	81
★看護技術論 III (基礎看護技術②)★ (○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美 穂、川端龍人) .....	84
★看護援助論 II (生命の維持)★ (○仁昌寺貴子) .....	87
★看護援助論 III (感染防御と清潔)★ (○喜多里己) .....	89
★コミュニティ論 I★ (○鷹田佳典) .....	91
★コミュニティケア I (地域看護学)★ (○成木弘子、藤川あや) .....	93
★災害看護論★ (○池田稔子) .....	95
★災害看護活動論 I★ (○根岸京子、織方愛) .....	97
★看護援助論実習 [レベル I] ★ (○岡田彩子) .....	99